

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

福大病庶 126号  
令和 4年 10月 5日  
開設者名 学校法人福岡大学  
理事長 貫 正義

福岡大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
氏名	学校法人 福岡大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

福岡大学病院
--------

3 所在の場所

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号
電話(092)801-1011

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科	○	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		○	11リウマチ科	
診療実績							
腎臓内科、血液内科、内分泌内科、感染症内科は内科として標榜している							

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
消化器外科、乳腺外科、心臓外科、血管外科、内分泌外科は外科として標榜している。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	呼吸器科	3	消化器科	4	循環器科	5	形成外科
6	美容外科	7	こう門科	8	リハビリテーション科	9	病理診断科	10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60				855	915

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	523	61	530.5	看護補助者	63	診療エックス線技師	0
歯科医師	15	5	15.3	理学療法士	22	臨床検査技師	74
薬剤師	78	4	80	作業療法士	8	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	5	その他	0
助産師	58	0	58	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	887	21	902.5	臨床工学士	17	医療社会事業従事者	6
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	43
歯科衛生士	3	2	4.8	歯科技工士	1	事務職員	184
管理栄養士	11	6	16.6	診療放射線技師	51	その他の職員	32

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	43	眼科専門医	8
外科専門医	41	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	9	放射線科専門医	10
小児科専門医	20	脳神経外科専門医	13
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	21
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	14
産婦人科専門医	16	救急科専門医	13
		合計	229

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 岩崎昭憲 ) 任命年月日 令和 元 年 12 月 1 日

2018.9.17 医療安全管理者認定証(認定番号180917183)  
 2021.12.4 医療安全管理者認定証(認定番号 第18495号)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	648.3 人	4.5 人	652.8 人

1日当たり平均外来患者数	1,296.2 人	51.3 人	1,347.50 人
1日当たり平均調剤数		1145.6	剤
必要医師数		146	人
必要歯科医師数		4	人
必要薬剤師数		22	人
必要(准)看護師数		372	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

#### 10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	358.49 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	10 床		有	
			人工呼吸装置		有	心細動除去装置
			その他の救急蘇生装置		有	ペースメーカー
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	12.8 m <sup>2</sup>	病床数	1 床	
	[移動式の場合]	台数	6 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	16.8 m <sup>2</sup>			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	307.8 m <sup>2</sup>		(主な設備)	生化学自動分析、全自動化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	109.9 m <sup>2</sup>		(主な設備)	培養・抗酸菌培養装置、嫌気チャンバー、細胞同定・感受性		
病理検査室	204.23 m <sup>2</sup>		(主な設備)	自動包埋脱水装置、凍結切片作成機クリオスタート、自動染		
病理解剖室	132.8 m <sup>2</sup>		(主な設備)	解剖台、カラー臓器撮影装置、骨切装置		
研究室	5449.2 m <sup>2</sup>		(主な設備)	超小型カラーテレビ 他		
講義室	372.9 m <sup>2</sup>		室数	2 室	収容定員	400 人
図書室	2,246.16 m <sup>2</sup>		室数	13 室	蔵書数	260,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

#### 11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.7	%	逆紹介率	65.5	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		16436		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13813		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1624		人
	D: 初診の患者の数		21073		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

#### 12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
深川 直美	産業医科大学病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
中村 圭佑	産業医科大学病院		医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
坪井 義夫	福岡大学病院		院内監査委員	有	1
林 覚竜	南蔵院		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

### 13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
福岡大学病院ホームページに掲載	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	4	61 下垂体前葉機能低下症	72
2 筋萎縮性側索硬化症	12	62 先天性副腎皮質酵素欠損症	6
3 脊髄性筋萎縮症	2	63 サルコイドーシス	39
4 原発性側索硬化症	1	64 特発性間質性肺炎	75
5 進行性核上性麻痺	16	65 肺動脈性肺高血圧症	12
6 パーキンソン病	383	66 慢性血栓性肺高血圧症	6
7 大脳皮質基底核変性症	9	67 リンパ管筋腫症	13
8 ハンチントン病	1	68 網膜色素変性症	15
9 神経有棘赤血球症	1	69 特発性門脈圧亢進症	2
10 シャルコー・マリー・トゥース病	2	70 原発性胆汁性肝硬変	51
11 重症筋無力症	86	71 原発性硬化性胆管炎	4
12 多発性硬化症／視神経脊髄炎	58	72 自己免疫性肝炎	15
13 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13	73 クローン病	187
14 封入体筋炎	1	74 潰瘍性大腸炎	254
15 多系統萎縮症	28	75 好酸球性消化管疾患	3
16 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	41	76 慢性特発性偽性腸閉塞症	1
17 ラインゾーム病	18	77 若年性特発性関節炎	1
18 副腎白質ジストロフィー	1	78 非典型溶血性尿毒症症候群	1
19 ミトコンドリア病	2	79 筋ジストロフィー	10
20 もやもや病	46	80 脊髄空洞症	3
21 HTLV-1関連脊髄症	16	81 アイザックス症候群	2
22 全身性アミロイドーシス	16	82 脳表ヘモジリン沈着症	1
23 遠位型ミオパチー	1	83 ペリー症候群	1
24 神経線維腫症	34	84 前頭側頭葉変性症	8
25 天疱瘡	8	85 先天性無痛無汗症	1
26 膿疱性乾癬(汎発型)	17	86 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1
27 高安静脈炎	11	87 レノックス・ガストー症候群	2
28 巨細胞性動脈炎	1	88 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1
29 結節性多発動脈炎	5	89 結節性硬化症	3
30 顕微鏡的多発血管炎	15	90 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	8
31 多発血管炎性肉芽腫症	3	91 特発性後天性全身性無汗症	2
32 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	92 マルフアン症候群	4
33 悪性関節リウマチ	4	93 ウィルソン病	5
34 パージャール病	5	94 多脾症候群	1
35 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	95 急速進行性糸球体腎炎	1
36 全身性エリテマトーデス	112	96 一次性ネフローゼ症候群	21
37 皮膚筋炎／多発性筋炎	46	97 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
38 全身性強皮症	36	98 紫斑病性腎炎	4
39 混合性結合組織病	16	99 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
40 シェーグレン症候群	10	100 オスラー病	1
41 成人スチル病	10	101 閉塞性細気管支炎	2
42 再発性多発軟骨炎	3	102 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
43 ベーチェット病	37	103 α1-アンチトリプシン欠乏症	2
44 特発性拡張型心筋症	28	104 偽性副甲状腺機能低下症	1
45 肥大型心筋症	6	105 副腎皮質刺激ホルモン不応症	1
46 再生不良性貧血	10	106 ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	5
47 自己免疫性溶血性貧血	2	107 プロピオン酸血症	1
48 特発性血小板減少性紫斑病	31	108 尿素サイクル異常症	1
49 原発性免疫不全症候群	1	109 脂肪萎縮症	1
50 IgA 腎症	42	110 家族性地中海熱	1
51 多発性嚢胞腎	21	111 強直性脊椎炎	2
52 黄色靱帯骨化症	6	112 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	1
53 後縦靱帯骨化症	47	113 クリップル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
54 広範脊柱管狭窄症	6	114 後天性赤芽球癆	2
55 特発性大腿骨頭壊死症	51	115 嚢胞性線維症	1
56 下垂体性ADH分泌異常症	10	116 IgG4関連疾患	1
57 下垂体性PRL分泌亢進症	6	117 レーベル遺伝性視神経症	1
58 クッシング病	1	118 遅発性内リンパ水腫	1
59 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4	119 好酸球性副鼻腔炎	6
60 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14	120 進行性ミオクローヌステんかん	2
		121 特発性多中心性キャッスルマン病	3

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	121
合計患者数(人)	2,309

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
情報通信機器を用いた診療	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1入院基本料)(入院栄養管理体制加算)	ハイリスク分娩管理加算
特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1入院基本料)	総合評価加算
臨床研修病院入院診療加算	術後疼痛管理チーム加算
救急医療管理加算	後発医薬品使用体制加算1
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算1
妊産婦緊急搬送入院加算	病棟薬剤業務実施加算2
診療録管理体制加算1	データ提出加算2
医師事務作業補助体制加算2(20対1)	入退院支援加算1、3(地域連携診療計画加算、入院時支援加算、総合機能評価加算)
急性期看護補助体制加算(25対1(5割以上))(夜間100対1急性期看護補助体制加算)	認知症ケア加算1
看護職員夜間12対1配置加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
看護補助加算2(50対1)	精神科疾患診療体制加算
療養環境加算	精神科急性期医師配置加算
重症者等療養環境特別加算	排尿自立支援加算
無菌治療室管理加算2	地域医療体制確保加算
緩和ケア診療加算	救命救急入院料1【救命救急センターBユニット】(救急体制充実加算2、小児加算)
精神科身体合併症管理加算	救命救急入院料4【救命救急センターAユニット】(救急体制充実加算2、小児加算、算定上限日数に関する基準、早期栄養介入管理加算)
精神科リエゾンチーム加算	特定集中治療室管理料1(小児加算、早期離床・リハビリテーション加算)【SICU】
摂食障害入院医療管理加算	特定集中治療室管理料3【CCU】(早期離床・リハビリテーション加算、算定上限日数に関する基準、小児加算、早期栄養介入管理加算)
がん診療連携拠点病院加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料【SCU】(早期栄養介入管理加算)
栄養サポートチーム加算	総合周産期特定集中治療室管理料母体・胎児集中治療室管理料(成育連携支援加算)【MFICU】
医療安全対策加算1	総合周産期特定集中治療室管理料新生児集中治療室管理料【NICU】
感染対策向上加算1(指導強化加算)	新生児治療回復室入院医療管理料【GCU】
患者サポート体制充実加算	小児入院医療管理料1(注2プレイルーム加算)(養育支援体制加算、時間外受入体制強化加算1)【本館3階南、新館5階小児医療センター】
重症患者初期支援充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来栄養食事指導料 注3 (がん専門管理栄養士が栄養指導を行う場合)	がん治療連携計画策定料
植込型除細動器移行期加算 (※心臓ペースメーカー指導管理料の加算)	がん治療連携管理料
遠隔モニタリング加算 (※注5 心臓ペースメーカー指導管理料の加算)	認知症専門診断管理料
高度難聴指導管理料	肝炎インターフェロン治療計画料
糖尿病合併症管理料	外来排尿自立指導料
がん性疼痛緩和指導管理料	薬剤管理指導料
がん患者指導料イ	医療機器安全管理料 1
がん患者指導料ロ	医療機器安全管理料 2
がん患者指導料ハ	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物住居者訪問看護・指導料
がん患者指導料ニ	在宅血液透析指導管理料
外来緩和ケア管理料	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
移植後患者指導管理料 (臓器移植後)	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
糖尿病透析予防指導管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
小児運動器疾患指導管理料	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
婦人科特定疾患治療管理料	持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
腎代替療法指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
二次性骨折予防継続管理料 1	造血器腫瘍遺伝子検査
下肢創傷処置管理料	遺伝学的検査
外来放射線照射診療料	抗アデノ随伴ウイルス9型 (AAV9)抗体
外来腫瘍化学療法診療料1	B R C A 1 / 2 遺伝子検査
外来腫瘍化学療法診療料1 (連携充実加算)	がんゲノムプロファイリング検査
ニコチン依存症管理料	先天性代謝異常症検査
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	抗H L A抗体 (スクリーニング検査) 及び抗H L A抗体 (抗体特異性同定検査)
ハイリスク妊産婦連携指導料 1	HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)
ハイリスク妊産婦連携指導料 2	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
検体検査管理加算(Ⅳ)	心臓MR I 撮影加算
国際標準検査管理加算	C T 撮影及びMR I 撮影
遺伝カウンセリング加算	肝エラストグラフィ加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	血流予備量比コンピューター断層撮影
植込型心電図検査	乳房MR I 撮影加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	小児鎮静下MR I 撮影加算
胎児心エコー法	頭部MR I 撮影加算
ヘッドアップティルト試験	大腸C T 撮影加算
人工臓器検査、人工臓器療法	画像診断管理加算 3
長期継続頭蓋内脳波検査	遠隔画像診断
長期脳波ビデオ同時記録検査1	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
終夜睡眠ポリグラフィー (1及び2以外の場合 安全精度管理下で行うもの)	無菌製剤処理料
脳波検査判断料1	外来化学療法加算 1
単線維筋電図	連携充実加算
神経学的検査	心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ) 【初期加算含む】
補聴器適合検査	脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅰ) 【初期加算含む】
ロービジョン検査判断料	運動器リハビリテーション料 (Ⅰ) 【初期加算含む】
コンタクトレンズ検査料 1	運動器リハビリテーション料 (Ⅱ)
小児食物アレルギー負荷検査	呼吸器リハビリテーション料 (Ⅰ) 【初期加算含む】
内服・点滴誘発試験	摂食機能療法 注3摂食嚥下支援加算
C T透視下気管支鏡検査加算	摂食嚥下機能回復体制加算1
経気管支凍結生検法	がん患者リハビリテーション料 (Ⅰ)
ポジトロン断層撮影	リンパ浮腫複合的治療料
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	救急患者精神科継続支援料
冠動脈C T 撮影加算	認知療法・認知行動療法 1
外傷全身C T 加算	精神科作業療法

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
精神科ショート・ケア「大規模なもの」	脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術
精神科デイ・ケア「大規模なもの」	癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料）	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
医療保護入院等診療料	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）
静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	角結膜悪性腫瘍手術
人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	角膜移植術・内皮移植加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	羊膜移植術（学会認定施設書の提出の必要性）
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	緑内障手術（流出路再建術） イ 眼内法 ロ その他のもの
透析液水質確保加算	緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
慢性維持透析濾過加算	緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
LDLアフェレシス療法における血漿交換療法	緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
移植後抗体関連拒絶反応における血漿交換療法	網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
一酸化窒素吸入療法	網膜再建術
心不全に対する遠赤外線温熱療法	植込型骨補聴器（直接振動型）植込術
歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）	耳管用補綴材挿入術
センチネルリンパ節加算	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
自家脂肪注入	人工中耳植込術
組織拡張器による再建術（乳房（再建時手術）の場合に限る。）	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）
骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	経鼻内視鏡下副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
椎間板内酵素注入療法	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
内視鏡的下脳腫瘍生検	上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る）・下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る）
内視鏡的下脳腫瘍摘出術	乳房切除術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対するもの）
頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る）	乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下に伴うもの)
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	経皮的の中隔心筋焼灼術
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いる場合)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いる場合)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
同種死体肺移植術	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
生体部分肺移植術	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的動脈遮断術
内視鏡下筋層切開術	経皮的下肢動脈形成術
経皮的冠動脈形成術	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
経皮的冠動脈ステント留置術	ダメージコントロール手術
胸腔鏡下弁形成術	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
胸腔鏡下弁置換術	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
経カテーテル大動脈弁置換術	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的冠動脈ステント留置術	腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下弁形成術	腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胸腔鏡下弁置換術	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
経カテーテル大動脈弁置換術	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除術を伴うもの)
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
体外衝撃波胆石破砕術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
腹腔鏡下肝切除術	子宮附属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対するもの）
体外衝撃波膀胱石破砕術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下膀胱腫瘍摘出術	胎児輸血術
腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術	臍帯穿刺
腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	体外式膜型人口肺管理料
同種死体膀胱島移植術	輸血管管理料（Ⅱ）
内視鏡的小腸ポリープ切除術	貯血式自己輸血管理体制加算（※輸血管管理料の加算）
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	自己クリオプレシピテート作製術（用手法）
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	同種クリオプレシピテート作製術
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	胃瘻造設時嚙下機能評価加算
腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
同種死体腎移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
生体腎移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対する乳房切除術）
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	麻酔管理料（Ⅰ）
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	麻酔管理料（Ⅱ）
膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）	麻酔管理料 周術期薬剤管理加算
埋没陰茎手術	放射線治療専任加算
陰嚢水腫手術（鼠径部切開によるもの）	外来放射線治療加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	体外照射呼吸性移動対策加算
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	高エネルギー放射線治療
腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	1回線量増加加算（全乳房照射・前立腺照射）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）	強度変調放射線治療（IMRT）
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	画像誘導放射線治療（IGRT）





(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	腫瘍・血液感染症内科、泌尿器、消化器外科、脳神経外科、消化器内科、乳腺外科・放射線科、歯科口腔外科との病理臨床カンファレンスに加え、病理解剖後の臨床病理カンファレンスを併せ、年間約95回行っています	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	10
	剖検率(%)	5.7

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規非ペプチド型アンジオテンシンIIタイプI受容体選択的作動薬の開発	三浦伸一郎	循環器内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
次世代型HDL模倣ペプチドの多機能性と安全性の検証	朔啓二郎	循環器内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験	有馬久富	衛生・公衆衛生学	4,940,000	補委	日本学術振興会
心臓リハビリテーションと心肺運動負荷検査(CPX)による心血管疾患の予後予測	北島研	卒後臨床研修センター	1,170,000	補委	日本学術振興会
ナノバブル化アポA-I模倣ペプチドと超音波による新規動脈硬化治療法の開発	今泉聡	医学系研究・生命医療倫理部門	1,820,000	補委	日本学術振興会
アンジオテンシンII受容体拮抗薬/ネプリライシン阻害薬の動脈硬化抑制メカニズム	末松保憲	循環器内科	1,040,000	補委	日本学術振興会
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」診断基準・治療指針改訂プロジェクト	平井郁仁	消化器内科	200,000	補委	厚生労働省
一般住民における睡眠負債と睡眠時無呼吸症候群が心血管病とCKDに及ぼす影響	吉村 力(研究代表者)	呼吸器内科	0	補委	独立行政法人日本学術振興会
動脈硬化、心血管病、CKDに及ぼす不眠症、睡眠時無呼吸症候群の解明	吉村 力(研究代表者)	呼吸器内科	2,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験	吉村 力(研究分担者)	呼吸器内科	2,578,447	補委	独立行政法人日本学術振興会
一般住民における夜間頻尿の包括的病態解明	吉村 力(研究分担者)	呼吸器内科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病型別に慢性腎臓病の発症および増悪に関与する腸内菌叢異常を解明する	吉村 力(研究分担者)	呼吸器内科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
神経疾患における睡眠時ブラキシズムと睡眠障害に関する研究	吉村 力(研究分担者)	呼吸器内科	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
一般住民における過活動膀胱、夜間頻尿と動脈硬化の機序解明	吉村 力(研究分担者)	呼吸器内科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
呼吸器腫瘍における薬物療法による免疫原性細胞死誘導能の探索研究	井上 博之(研究代表者)	呼吸器内科	700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
自殺未遂者等支援拠点医療機関整備事業	衛藤 暢明	精神神経科	1,128,000	補委	厚生労働省

日本における新型コロナウイルス感染症流行下での自殺未遂者の背景因子の分析	衛藤 暢明	精神医学教室	7,700,000	補委	厚生労働省
ICTと医療・健康・生活情報を活用した「次世代型 子ども医療支援システム」の構築に関する研究	永光 信一郎	小児科	7,600,000	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に乳幼児・学童・思春期の健やかな成長・発達をポピュレーションアプローチで切れ目なく支援するための社会実装化研究	永光 信一郎	小児科	12,000,000	補委	厚生労働省
アクティブラーニングによる親子コミュニケーション 促進アプリの開発	永光 信一郎	小児科	1,912,423	補委	日本学術振興会
母子保健情報を活用した「健やか親子21 (第2次)」の推進に向けた研究	永光 信一郎(分担)	小児科	700,000	補委	厚生労働省
不登校予防へ 思春期心身症早期介入の 教育・医学連携学校健診の実装	永光 信一郎(分担)	小児科	100,000	補委	日本学術振興会
川崎病冠動脈瘤発症予防のための急性期治療 難治例予測診断法開発に直結するエビデンス 創出研究	吉兼 由佳子	小児科	11,732,500	補委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性小児消化器疾患の医療水準向上 および移行期・成人期のQOL向上に関する研究	廣瀬 龍一郎	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	200,000 (うち間接経費0円)	補委	厚生労働省(分担)
新規蛍光装置を使用したビタミンB2ガイド下手術の確立と実用化に向けた取り組み	早稲田 龍一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	1,430,000 (うち間接経費330,000円)	補委	日本学術振興会(代表)
小児固形悪性腫瘍に対する超音波硬度計測における組織硬度と病理学的分子生物学的解析	渋井 勇一	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	130,000 (うち間接経費30,000円)	補委	日本学術振興会(分担)
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模他施設研究	代表者:菅野信彦 分担者:山本卓明	整形外科	100,000	補委	厚生労働省
関節内脆弱性骨折による関節破壊のメカニズムの解明	山本卓明	整形外科	4,160,000	補委	文部科学省・日本学術振興会
脱分化型脂肪肉腫のPDXモデルの構築と脱分化誘導メカニズムの解明	西尾 淳	整形外科	4,160,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費(基盤研究C)
変形性膝関節症手術における神経麻痺の発生メカニズム解明と予防法の開発	石松哲郎	整形外科	4,550,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費(若手研究)
浸潤性軟部肉腫の個別科治療を目指した基盤研究	中山鎮秀	整形外科	500,000	補委	公益財団法人 緒方記念科学振興財団
膝人工関節置換術における神経麻痺の発生メカニズム解明と予防法の開発	石松哲郎	整形外科	1,000,000	補委	公益財団法人 臨床研究奨励基金

パーキンソン病重症度を示す生体指標の確立による脳深部刺激条件最適化方法開発	森下登史	脳神経外科	900,000	補委	文部科学省
神経皮膚症候群におけるアンメットニーズを満たす多診療科連携診療体制の確立	今福 信一	皮膚科	1,500,000	補委	厚生労働省
内蔵脂肪の機能低下に伴う前立腺肥大症発症機序の解明	羽賀宣博	腎泌尿器外科	1,000,000	補委	日本学術振興会
一般住民における過活動膀胱、夜間頻尿と動脈硬化の機序解明	坪内和女	腎泌尿器外科	1,600,000	補委	日本学術振興会
一般住民における夜間頻尿の包括的病態解明	中村信之	腎泌尿器外科	400,000	補委	日本学術振興会
ロボット支援前立腺全摘除術におけるICG蛍光ナビゲーションシステムを用いた高精度神経温存手術法の開発	羽賀宣博	腎泌尿器外科	1,000,000	補委	公益財団法人鈴木謙三記念医科学応用研究財団
内臓脂肪のリポオリティの変調に伴う前立腺肥大症の発症機序の解明	羽賀宣博	腎泌尿器外科	300,000	補委	一般社団法人臨床医学振興財団
ロボット支援前立腺全摘除術におけるICG 蛍光ナビゲーションシステムを用いた神経温存手術法の開発	郡家直敬	腎泌尿器外科	500,000	補委	公益財団法人内視鏡医学研究振興財団
ロボット支援前立腺全摘除術における Firefly system を用いた ICG 併用高精度勃起機能温存術の開発	羽賀宣博	腎泌尿器外科	600,000	補委	一般社団法人医療・介護・教育研究財団
脂肪幹細胞及びウルトラファインバブルを活用した受精卵分化誘導治療の開発	宮本新吾	産婦人科	3,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
局所細菌フローラの活動性による早産発祥の制御システムの解明	宮田康平	産婦人科	600,000	補委	令和2年度文部科学若手
子宮内感染の予測と羊水穿刺の適応を診断する方法の開発	倉員正光	産婦人科	400,000	補委	令和2年度文部科学若手
絨毛膜羊膜炎発症ハイリスク切迫早産症例を対象とした治療的抗菌薬投与による第II相臨床研究	漆山大知	産婦人科	1,000,000	補委	日本周産期・新生児医学会臨床研究 Award
膣内細菌叢NGS検査による子宮内感染スクリーニング法の開発	清島千尋	産婦人科	1,000,000	補委	令和3年度公益財団法人柿原科学技術研究財団
アデノウイルス眼感染症の細胞生物学的解析と治療薬剤開発の研究	内尾英一	眼科	1000000	補委	文部科学省
定量的画像バイオマーカーとしてのMRE実現に向けた評価法確立とデータベース作成	吉満研吾	放射線科	470000	補委	文科省科研費 基盤研究(B)
ECVの概念を応用したEOBの細胞内外分布の分離:肝機能と肝腫瘍鑑別診断への応用	吉満研吾	放射線科	1400000	補委	文科省科研費 基盤研究(C)
肝線維化および肝細胞機能に関するMRIを用いた新たな定量的診断法の開発	高山幸久	放射線科	1778641	補委	文科省科研費 基盤研究(C)

糸球体内皮機能障害による糖尿病性腎臓病発症・進展機構の解明	川浪大治	内分泌・糖尿病内科	780,000	補委	日本学術振興会
ファーストメッセンジャーとしてのリンとその感知機構の解明	高士祐一	内分泌・糖尿病内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	田邊真紀人	内分泌・糖尿病内科	400,000	補委	厚生労働省
病型別に慢性腎臓病の発症および増悪に関する腸内細菌叢異常を解明する	安野 哲彦	腎臓・膠原病内科	4. 160, 000	補委	日本学術振興会
最終糖化産物(AGEs)の慢性腎臓病に対する影響を解明する-疫学的視点より	伊藤 建二	腎臓・膠原病内科	4. 160, 000	補委	日本学術振興会
HAMならびに類縁疾患の患者レジストリを介した診療連携モデルの構築によるガイドラインの活用促進と医療水準の均てん化に関する研究	坪井 義夫	脳神経内科	300,000	補委	厚生労働省
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	坪井 義夫	脳神経内科	900,000	補委	厚生労働省
パーキンソン病の起因となる腸管α Synuclein以上蓄積に対する腸内細菌層の関与の解明	坪井 義夫	脳神経内科	1,300,000	補委	AMED
「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業. 軽度アルツハイマー型認知症を対象とする八味地黄丸の認知機能に対する有効性と安全性を確認する探索的オープン標準治療対照無作為化割付多施設共同研究	坪井 義夫	脳神経内科	974,350	補委	AMED
HAMの治療薬開発を促進する代替エンドポイントとしてのバイオマーカーの実用化研究	坪井 義夫	脳神経内科	390,000	補委	AMED
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	坪井 義夫	脳神経内科	500,000	補委	厚生労働省
脳梗塞の発症および機能回復に関連する腸内細菌の検討-疫学的視点より-	緒方 利安	脳神経内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
進行性核上性麻痺における視床下核容積定量と症状、予後の関連性を調査する前向き研究	藤岡 伸助	脳神経内科	650,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞を用いたPerry症候群患者モデルの確立	三嶋 崇靖	脳神経内科	910,000	補委	日本学術振興会
Perry症候群におけるダイニン-ダイナクチン系とTDP-43間の相互作用の破綻	河田 純一	神経疾患遠隔診療研究講座	1,430,000	補委	日本学術振興会
神経細胞が軸索を1本だけ持つ仕組みの解	河田 純一	神経疾患遠隔診療研究講座	2,470,000	補委	日本学術振興会
Perry病の予後予測バイオマーカー探索	三嶋 崇靖	脳神経内科	1,000,000	補委	臨床研究奨励基金

Liquid biopsyと腫瘍生検の遺伝子変異パターンによる直腸癌治療の最適化	長谷川 傑	消化器外科	900,000	補委	文部科学省
免疫チェックポイント阻害剤の効果予測、治療選択に有用なバイオマーカーの同定	山田 哲平	消化器外科	600,000	補委	文部科学省
患者層別化マーカー探索技術の開発/医療ニーズの高い特定疾患・薬剤に対する患者層別化基盤技術の開発	長谷川 傑	消化器外科	3,000,000	補委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
神経疾患における睡眠時ブラキシズムと睡眠障害に関する研究	梅本 丈二	歯科口腔外科	1,950,000円/3年	補委	日本学術振興会
神経筋疾患の嚥下障害が栄養障害に及ぼす影響に関する研究	梅本 丈二	歯科口腔外科	4,290,000円/4年	補委	日本学術振興会
口腔-腸内性菌叢と人工呼吸器関連肺炎(VAP)	喜多 涼介	歯科口腔外科	4,160,000円/3年	補委	日本学術振興会
動脈硬化性疾患患者の口腔-腸内細菌叢の微生物相解析	石田 晋太郎	歯科口腔外科	4,290,000円/3年	補委	日本学術振興会
COVID-19関連ECMO患者の定量的口腔内状況把握と口腔衛生管理が転機に及ぼす影響	近藤 誠二	歯科口腔外科	700,000	補委	公益財団法人8020推進財団
ECMOセンター管理を要する新型コロナウイルス感染症患者の口腔内衛生状況の評価研究	吉野 綾	歯科口腔外科	700,000	補委	公益財団法人臨床研究奨励基金
パーキンソン病患者の嚥下機能と服薬状況に関する調査研究	梅本 丈二	歯科口腔外科	500,000円/3年	補委	日本老年歯科医学会
トロンボモジュリン製剤を用いた新たな脳梗塞治療戦略の検証	仲村佳彦	救命救急センター	1,000,000	補委	日本学術振興会
「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期のQOL向上に関する研究」	廣瀬 龍一郎 (分担)	総合周産期母子医療センター、小児外科	200,000	補委	厚生労働省
小児固形悪性腫瘍に対する超音波硬度計測における組織硬度と病理学的分子生物学的解析	渋井 勇一 (分担)	総合周産期母子医療センター、小児外科	130,000 (うち間接経費30,000円)	補委	日本学術振興会
漢方薬麻黄湯による抗RSウイルス作用機序とその有効成分の解析	鍋島 茂樹	総合診療部	1,300,000	補委	文部科学省
感染症発症に関与する腸内細菌叢異常を解明	武岡 宏明	総合診療部	800,000	補委	文部科学省
高感度CRPと冠動脈石灰化との関連を解明する疫学研究	加藤 禎史	総合診療部	1,100,000	補委	文部科学省
細胞診による中皮腫診断に関する研究: 遺伝子変異の病理診断システムへの応用 平成31年度～平成33年度	鍋島 一樹	病理部	1,400,000	補委	文科省
禁煙に伴う腸内細菌叢を介したHDL機能制御のメカニズムの解明	高田 耕平	臨床検査部	2,200,000	補委	日本学術振興会

情報通信技術を用いた遠隔 栄養指導有用性の検討	高田 耕平	臨床検査部	1,900,000	補 委	日本学術振興 会
非抗菌薬を用いた持続感染 細胞の駆逐を目指したMRSA バイオフィルムの制御	高田 徹	感染制御部	1,160,855	補 委	学術研究助成 基金助成金 基 盤研究(C)(一 般)

合計87件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yokoyama K, Irie M, Tsuchiya N,et al	消化器内科	Irsogladine maleate alters expression of a tight junction protein in portal hypertensive gastropathy.	J Gastroenterol Hepatol 36(5):1208-1215. 2021 May	Original Article
2	Yamauchi R, Takedatsu H, Yokoyama K,et al	消化器内科	Elobixibat, an ileal bile acid transporter inhibitor, ameliorates non-alcoholic steatohepatitis in mice	Hepatol Int. 15(2):392-404, 2021 Apr	Original Article
3	Inomata S, Moriyama D, Anan A, et al	消化器内科	Male-specific Association between Iron and Lipid Metabolism Changes and Erythroferrone after Hepatitis C Virus Eradication.	Intern Med. 61(4):461-467, 2022 Feb 15	Original Article
4	Imakiire S, Takedatsu H, Mitsuyama K, et al	消化器内科	Role of Serum Proteinase 3 Antineutrophil Cytoplasmic Antibodies in the Diagnosis, Evaluation of Disease Severity, and Clinical Course of Ulcerative Colitis	Gut Liver. 16(1):92-100, 2022 Jan 15	Original Article



5	Takata K, Tanakaa T, Anana A, et al	消化器内科	Suppression of Local Tumor Progression in Perivascular Hepatocellular Carcinoma by Combination Therapy with Radiofrequency Ablation and Percutaneous Ethanol Injection: A Propensity Score Matching Analysis	Oncology 2022;100:303-312 Epub 2022 Feb 3.	Original Article
6	Takata K, Nagata T, Uchida Y,et al	消化器内科	Gastroesophageal Varices and Hyperplastic Nodules of the Liver in a Patient with Anorexia Nervosa.	Intern Med. 60(19):3017-3112, 2021 Oct 1	Case report
7	Ishibashi H, Imakiire S, Goto M, et al	消化器内科	Epstein-Barr Virus-positive Intestinal Diffuse Large B-cell Lymphoma in a Japanese Patient with Celiac Disease:First Reported Case and a Listerature Review.	Intern Med 61(3):329-334, 2022 Feb 1	Case report
8	Koga T, Hijioka S, Ishikawa Y,et al	消化器内科	Duckbill-type antireflux self-expandable metal stent placement for post-choledochojejunostomy reflux cholangitis	Endoscopy 53(5):E174-E176. 2021 May	Case report
9	Koga T, Hijioka S, Hisada Y, et al	消化器内科	Endoscopic ultrasound-guided choledochoduodenostomy without fistula dilation using a novel fully covered metallic stent with a 5.9-Fr ultra-thin delivery system	Endoscopy 53(6):E223-E225. 2021 Jun	Case report

10	Yoshimura C, Arima H, Amagase H, et al.	呼吸器内科	Idiopathic and secondary restless legs syndrome during pregnancy in Japan: Prevalence, clinical features and delivery-related outcomes.	PloS One / 2021 May 11;16(5):e025129 8. doi: 10.1371/journal. pone.0251298. eCollection 2021.PMID: 33974646	Original Article
11	Inoue H, Tsutsumi H, Tanaka K, et al.	呼吸器内科	Increased plasma levels of damage-associated molecular patterns during systemic anticancer therapy in patients with advanced lung cancer.	Transl Lung Cancer Res. 2021 Jun;10(6):2475- 2486. doi: 10.21037/tlcr- 21-92. PMID: 34295655	Original Article
12	Nakao A, Inoue H, Osaki Y, et al.	呼吸器内科	Lung squamous cell carcinoma with severe hypomagnesemia due to cisplatin plus gemcitabine in combination with necitumumab therapy: A case report	Thorac Cancer. 2021 Jul;12(13):2039- 2042. doi: 10.1111/1759- 7714.13999.PMI D: 34061460	Case report
13	Ohta E, Setoue T, Ito K, et al	小児科	Invasive candidiasis in neonatal intensive care unit in Fukuoka	Pediatrics International 13 August 2021 Vol.64(1) : e14949	Original Article
14	Ohta E, Setoue T, Ito K, et al	小児科	Septic arthritis in childhood: A 24-year review	Pediatrics International 15 September 2021 Vol.64(1) : e14993	Original Article

15	Yoshikane Y, Okuma Y, Miyamoto T, et al	小児科	Serum tenascin-C predicts resistance to steroid combination therapy in high-risk Kawasaki disease: a multicenter prospective cohort study	Pediatric Rheumatology 5 June 2021 Vol.19:82 s 12969-021-00562-w	Original Article
16	<u>Miyahara S</u> , Waseda R, Tokuishi K et al.	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	Elucidation of prognostic factors and the effect of anti-fibrotic therapy on waitlist mortality in lung transplant candidates with idiopathic interstitial pneumonias	Respir Investig 59(4):428-435, 2021 Jul	Original Article
17	<u>Shibui Y</u> , Kohashi K, Tamaki A et al.	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	The forkhead box M1 (FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in malignant rhabdoid tumor	J Cancer Res Clin Oncol 147(5):1499-1518, 2021 May	Original Article
18	<u>Ueda Y</u> , Sato T, Yutaka Y et al.	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	Replacement of a 5-cm Intrathoracic Trachea With a Tissue-Engineered Prosthesis in a Canine Model	Ann Thorac Surg doi: 10.1016/j.athoracsur.2021.05.076. Online ahead of print 2021 Jun	Original Article
19	<u>Waseda R</u> , Shiraishi T, Miyahara S et al.	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	A successful surgical tracheobronchoplasty in a case of expiratory collapse of central airways associated with tracheobronchomalacia in a severely deformed single lung patient	Gen Thorac Cardiovasc Surg 69(4):756-761, 2021 Apr	Case report

20	Doi N, Kinoshita K, Sakamoto T, et al.	整形外科	Incidence and clinical outcome of lateral femoral cutaneous nerve injury after periacetabular osteotomy	Bone Joint J. 2021 Apr;103- B(4):659-664.	Original Article
21	Tanaka J, Takamori Y, Shiokawa T, et al.	整形外科	Drop foot due to lumbar degenerative disease: Painless drop foot is difficult to recover	Clin Neurol Neurosurg. 2021 May 23;106696.	Original Article
22	Ishimatsu T, Takeuchi R, Ishikawa H, et al.	整形外科	Femoral morphology affects postoperative alignment of the lower extremities in hybrid closed-wedge high tibial osteotomy.	Arch Orthop Trauma Surg. 2021 Jun 1.	Original Article
23	Miyazaki K, Maeyama A, Yoshimura I, et al.	整形外科	Influence of hindfoot alignment on postoperative lower limb alignment in medial opening wedge high tibial osteotomy	Arch Orthop Trauma Surg 2021 Jun 19.	Original Article
24	Kosaka H, Maeyama A, Nishio J, et al.	整形外科	Histopathologic evaluation of bone marrow lesions in early stage subchondral insufficiency fracture of the medial femoral condyle.	Int J Clin Exp Pathol. 2021 Jul 15;14(7):819- 826.	Original Article

25	Suzuki M, Kinoshita K, Sakamoto T, et al.	整形外科	Leg Length Change After Curved Periacetabular Osteotomy and Its Impact on the Clinical Outcomes	J Arthroplasty. 2021 Sep;36(9):3089- 3096.	Original Article
26	Kinoshita S, Ishimatsu T, Suzuki M, et al.	整形外科	Femoral nerve status during the anterolateral approach for total hip arthroplasty: Motor- evoked potential analysis and an influencing factor.	J Orthop Sci. 2021 Oct 27:S0949- 2658(21)00334- 1.	Original Article
27	Kamachi Y, Kinoshita K, Sakamoto T, et al.	整形外科	Bone union status of all osteotomy sites one year after curvedperiacetabular osteotomy based on computed tomography	Orthop Traumatol Surg Res. 2021 Dec;107(8):10295 5.	Original Article
28	Kamada S, Fujimi K, Shiota E, et al.	整形外科	Experience of Rehabilitation for Patients with Mild and Moderate COVID-19 without Remote Systems	Int J Phys Med Rehabil. Vol.9 Iss.S8 No:1000003 Published21- Dec-2021	Original Article
29	Miyake S, Tamai M, Takeuchi Y, et al.	整形外科	Alteration of coracoacromial ligament thickness at the acromial undersurface in patients with rotator cuff tears	JSES Int. 2022 Jan 27;6(3):468-472.	Original Article

30	Arashiro Y, Izaki T, Miyake S, et al.	整形外科	Influence of scapular neck length on the extent of impingement-free adduction after reverse total shoulder arthroplasty.	J Shoulder Elbow Surg. 2022 Jan;31(1):185-191.	Original Article
31	Hagio T, Yoshimura I, Kanazawa K, et al.	整形外科	Risk factors for recurrence of hallux valgus deformity after minimally invasive distal linear metatarsal osteotomy.	J Orthop Sci. 2022 Mar;27(2):435-439.	Original Article
32	Nagatomo M, Yoshimura I, Hagio T, et al.	整形外科	Straight Form of Calcaneofibular Ligament as a Three-Dimensional Magnetic Resonance Imaging Sign in Diagnosis of Calcaneofibular Ligament and Anterior Talofibular Ligament Inferior Fascicle Injury.	J Foot Ankle Surg. 2022 Mar-Apr;61(2):327-332. Epub 2021 Sep 9	Original Article
33	Shibata R, Tanaka J, Shiokawa T, et al.	整形外科	Lateral atlantoaxial joint arthritis in a patient with alkaptonuria.	J Orthop Sci. 2021 Aug 14:S0949-2658(21)00227-X.	Case report
34	Hagihara S, Ohta H, Tanaka J, et al.	整形外科	Perineural cyst with intracystic cerebrospinal fluid leakage by traction of nerve root -a case report.	J Orthop Sci. 2021 Nov 17:S0949-2658(21)00355-9.	Case report

35	Hara J, Maeyama A, Ishimatsu T, et al.	整形外科	Acute anterior dislocation in a total knee arthroplasty patient with a history of sarcoma resection.	Arthroplasty Today 2022 Jan 17;13:76-81.	Case report
36	Nishio J, Nakayama S, Nabeshima K, et al.	整形外科	Biology and Management of Dedifferentiated Liposarcoma: State of the Art and Perspectives.	J Clin Med. 2021 Jul 22;10(15):3230.	Review
37	Nakayama S, Nishio J, Aoki M, et al.	整形外科	Ubiquitin-specific peptidase 6 (USP6)-associated fibroblastic/myofibroblastic tumors: evolving concepts	Cancer Genomics & Proteomics 2021,Mar-Apr,18(2):93-101	Review
38	Nishio J, Nakayama S, Nabeshima K, et al.	整形外科	Current Update on the Diagnosis, Management and Pathogenesis of Elastofibroma Dorsi	Anticancer research 2021 May,41(5), 2211-2215.	Review
39	Nakayama S, Nishio J, Aoki M, et al.	整形外科	Angiofibroma of soft tissue: Current status of pathology and genetics.	Histol Histopathol. 2022 Feb 25:18444.	Review

40	Jimi S, Saparov A, Koizumi S, et al.	福岡大学医学部病態構造系総合研究室	A novel mouse wound model for scar tissue formation in abdominal muscle wall	J Vet Med Sci • 83(12):1933-1942,2021 Dec	Original Article
41	SatoshiTakagi, HiroyukiOhjimi ,JialiangTan, et al.	福岡大学医学部形成外科学	Factors that influence the postoperative upper eyelid position following surgery for involutional blepharoptosis	J Plast Reconstr Aesthet Surg • 75(7):278-285,2022 Jan	Original Article
42	Morishita T, Sakai Y, Iida H et al.	脳神経外科	Neuroanatomical considerations for optimizing thalamic deep brain stimulation in Tourette syndrome	Journal of neurosurgery 136(1):231-241,2022 Jan	Original Article
43	Hyakutake K, Morishita T, Saita K et al	リハビリテーション部	Effect of Robot-assisted Rehabilitation to Botulinum Toxin A Injection for Upper Limb Disability in Patients with Chronic Stroke: A Case Series and Systematic Review	Neurologia medico-chirurgica 62(1):35-44,2022 Jan	Original Article
44	Morishita T, Sakai Y, Mishima T et al.	脳神経外科	GPI DBS for Non-parkinsonian Midline Tremor: A Normative Connectomic Comparison to a Failed Thalamic DBS	Frontiers in Human Neuroscience 15:1-4, 2021Aug	Case report



45	Hideaki Yamada, Naoaki Sakata, Masuhiro Nishimura, Tomoko Tanaka, Masayuki Shimizu, Gumpei Yoshimatsu, Ryo Kawakami, Hideichi Wada, Osamu Sawamoto, Shinichi Matsumoto, Shohta Kodama	福岡大学医学部心臓血管外科科学教室	Xenotransplantation of neonatal porcine bone marrow-derived mesenchymal stem cells improves murine hind limb ischemia through lymphangiogenesis and angiogenesis	Xenotransplantation • PMID: 35279886 DOI: 10.1111/xen.12693 2021, Apr	Original Article
46	Hideaki Yamada, Naoaki Sakata, Tomoko Tanaka, Hideaki Tagashira, Gumpei Yoshimatsu, Ryo Kawakami, Hideichi Wada, Takahiro Iwamoto, Shohta Kodama	福岡大学医学部心臓血管外科科学教室	Lymphangiogenesis and angiogenesis rescue murine ischemic hindlimb via transient receptor potential vanilloid 4	Journal of Pharmacological Sciences • 146: 244–248, 2021 Aug	Original Article
47	Hideaki Yamada, Reiko Naito, Masuhiro Nishimura, Ryo Kawakami, Eri Morinaga, Yuichi Morita, Masayuki Shimizu, Gumpei Yoshimatsu,	福岡大学医学部心臓血管外科科学教室	Xenotransplantation of neonatal porcine bone marrow-derived mesenchymal stem cells improves diabetic wound healing by promoting angiogenesis and lymphangiogenesis	Xenotransplantation • <a href="https://doi.org/10.1111/xen.12739">https://doi.org/10.1111/xen.12739</a> 2022, Feb	Original Article
48	Nishio-Tatemichi H, Sato E, Shibayama Y, et al.	皮膚科	Sudden colour enhancement of congenital speckled lentiginous naevus after partial resection.	Australas J Dermatol. 2021 May (オンライン); 62(2):e355–e356	Case report

49	Imafuku S, Maeyama A.	皮膚科	Remission of anti-tumor necrosis factor- $\alpha$ antibody-induced palmoplantar pustulosis with the Janus kinase inhibitor baricitinib in a patient with rheumatoid arthritis.	J Dermatol. 2021 May (オンライン);48(5):e240-e241	Letter
50	Imafuku S, Nakagawa H, Igarashi A, et al.	皮膚科	Long-term efficacy and safety of tildrakizumab in Japanese patients with moderate to severe plaque psoriasis: Results from a 5-year extension of a phase 3 study (reSURFACE 1).	J Dermatol. 2021 Jun;48(6):844-852	Original Article
51	Tsutsui K, Kikuchi K, Nozawa K, et al.	皮膚科	Efficacy and safety of topical benzoyl peroxide for prolonged acneiform eruptions induced by cetuximab and panitumumab: A multicenter, phase II trial.	J Dermatol.2021 July;48(7):1077-1080	Original Article
52	Tsuruta N, Imafuku S,	皮膚科	Establishment of the Western Japan Psoriasis Registry and first cross-sectional analysis of registered patients.	J Dermatol.2021 Nov;48(11):1709-1718	Original Article
53	Imafuku S, Tada Y, Umezawa Y, et al.	皮膚科	Certolizumab Pegol in Japanese Patients with Moderate to Severe Plaque Psoriasis: Effect of Demographics and Baseline Disease Characteristics on Efficacy.	Dermatol Ther.2022 Jan; 12(1):121-135	Original Article

54	Miyachi M, Imamura-Ichigatani T, Ihara H, et al.	皮膚科	Herpes simplex virus DNA testing by a loop-mediated isothermal amplification method for accurate clinical diagnosis and detection of mucosal viral shedding.	J Dermatol. 2022 Feb;49(2):282-288	Original Article
55	Imafuku S, Ohata C, Okubo Y, et al.	皮膚科	Effectiveness of brodalumab in achieving treatment satisfaction for patients with plaque psoriasis: The ProLOGUE study.	J Dermatol.Sci.2022 Mar;105(3):176-184	Original Article
56	N Haga , T Miyazaki , K Tsubouchi et al.	腎泌尿器外科	Comprehensive approach for preserving cavernous nerves and erectile function after radical prostatectomy in the era of robotic surgery.	Int journal of urology. 2021 Apr;28(4):360-368	Review
57	Aoyagi C, Matsuoka H, Gunge N et al.	腎泌尿器外科	Successful Fowler-Stephens orchiopexy for an abdominal testis associated with continuous type of splenogondal fusion: A case report	Urology.2021Oct;156:e137-e140	Case report
58	Yoshikawa K, Kiyoshima C, Hirakawa T, et al	産婦人科	Diagnostic predictability of miR-4535 and miR-1915-5p expression in amniotic fluid for foetal morbidity of infection	Placenta•114:68-75, 2021Oct	Original Article

59	Urushiyama D, Onishi E, Suda W. et al	産婦人科	Vaginal microbiome as a tool for prediction of chorioamnionitis in preterm labor: a pilot study	Sci Rep •11(1): 18971, 2021 Sep	Original Article
60	Ichiyama T, Kuroda K, Urushiyama D	産婦人科	Analysis of vaginal and endometrial microbiota communities in infertile women with a history of repeated implantation failure.	Reprod Med Biol •20(3): 334-344, 2021 May	Original Article
61	Kimura S, Oshiro Y, Iwasaki H,et al	耳鼻咽喉科	Programmed cell death-ligand 1 (PD-L1)+tumour cells and low-reacting programmed cell death 1 (PD1)+tumour-infiltrating lymphocytes predict poor prognosis in Epstein-Barr virus+diffuse large B-cell lymphoma	Clinical and Experimental Medicine 2021, Sep 13	Original Article
62	Mihashi Y, Kimura S, Iwasaki H,et al.	耳鼻咽喉科	Large cell morphology, CMYC+ tumour cells, and PD-1+ tumour cell/intense PD-L1+ cell reactions are important prognostic factors in nodal peripheral T-cell lymphomas with T follicular helper markers	Diagnostic Pathology 16(1):101,06 November 2021	Original Article
63	Tani T, Sato K, Sakamoto K, Ito E, Nishiyama M, Urakawa H, Yoshimitsu K	放射線科	Importance of extracellular volume fraction of the spleen as a predictive biomarker for high-risk esophago-gastric varices in patients with chronic liver diseases: A preliminary report	European Journal of Radiology• 143: 109924 (2021.10)	Original Article

64	Tanaka T, Sakai R, Choi I, et al.	腫瘍・血液・感染症内科	Comprehensive geriatric assessment as a useful tool in predicting adverse events in elderly patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Sci Rep 2022.2 (オンライン)	Original Article
65	Tada K, Maeda T, Takahashi K, et al	腎臓・膠原病内科	Association between serum uric acid and new onset and progression of chronic kidney disease in a Japanese general population: Iki epidemiological study of atherosclerosis and chronic kidney disease.	Clin Exp Nephrol 2021 Jul 25(7):751-759	Original Article
66	Ito K, Yokota S, Watanabe M, et al	腎臓・膠原病内科	Anemia in Diabetic Patients Reflects Severe Tubulointerstitial Injury and Aids in Clinically Predicting a Diagnosis of Diabetic Nephropathy.	Intern Med 2021 May, 60(9):1349-1357.	Original Article
67	Morita N, Ozaki T, Yokota S, et al	腎臓・膠原病内科	Focal segmental glomerulosclerosis and concurrent glomerular microangiopathy after long-term imatinib administration.	CEN Case Rep. 11(1):134-140, 2022 Feb	Case report
68	Takeshita S, Ogata T, Arima H, et al.	脳神経内科	Proposed definition for young-onset ischemic stroke according to its cause.	Clin Neurol Neurosurg. 2021 May;204:106595.	Original Article

69	Ogura H, Hatip-Al- Khatib I, Suenaga M, et al.	脳神経内科	Circulatory 25(OH)D and 1,25(OH)2D as differential biomarkers between multiple system atrophy and Parkinson's disease patients.	eNeurologicalSci. 2021 Sep 23;25:100369. (オンライン)	Original Article
70	Tsuboi Y, Koebis M, Kogo Y, et al.	脳神経内科	Effects of safinamide adjunct therapy on pain in patients with Parkinson's disease: Post hoc analysis of a Japanese phase 2/3 study.	J Neurol Sci. 2021 Oct 15;429:118070.	Original Article
71	Hayashi Y, Nakagawa R, Ishido M, et al.	脳神経内科	Off Time Independently Affects Quality of Life in Advanced Parkinson's Disease (APD) Patients but Not in Non-APD Patients: Results from the Self-Reported Japanese Quality-of-Life Survey of Parkinson's Disease (JAQPAD) Study.	Parkinsons Dis. 2021 Oct 12;2021:9917539 . (オンライン)	Original Article
72	Kurihara K, Fujioka S, Kawazoe M, et al.	脳神経内科	Fluctuating pain in Parkinson's disease: Its prevalence and impact on quality of life.	eNeurologicalSci. 2021 Oct 4;25:100371.(オ ンライン)	Original Article
73	Deshimaru M, Mishima T, Watanabe T, et al.	脳神経内科	Behavioral profile in a Dctn1G71A knock-in mouse model of Perry disease.	Neurosci Lett. 2021 Nov 1;764:136234.	Original Article

74	Tsuboi Y, Nakamura M, Maruyama H, Matsumoto Y.	脳神経内科	Zonisamide improves wearing off in Parkinson's disease without exacerbating dyskinesia: Post hoc analysis of phase 2 and phase 3 clinical trials.	J Neurol Sci. 2021 Nov 15;430:120026.	Original Article
75	Tsuboi Y, Kochi K, Maruyama H, et al.	脳神経内科	Zonisamide improves axial symptoms in dementia with Lewy bodies with parkinsonism: Post hoc analysis of clinical trials.	eNeurologicalSci. 2021 Dec 7;26:100384. (オンライン)	Original Article
76	Ogura H, Nakagawa R, Ishido M, et al.	脳神経内科	Evaluation of Motor Complications in Parkinson's Disease: Understanding the Perception Gap between Patients and Physicians.	Parkinsons Dis. 2021 Dec 22;2021:1599477 . (オンライン)	Original Article
77	Yokote A, Hayashi Y, Yanamoto S, et al.	脳神経内科	Leg Muscle Strength Correlates with Gait Performance in Advanced Parkinson Disease.	Intern Med. 2022 Mar 1;61(5):633-638.	Original Article
78	Kurihara K, Tsugawa J, Ouma S, et al.	脳神経内科	Eosinophilic Granulomatosis with Polyangiitis Presenting with Myocarditis as an Initial Symptom: A Case Report and Review of the Literature.	Case Rep Neurol. 2021 Jun 10;13(2):329-333.	Case report

79	Tamaki K, Mera H, Takeshita S, et al.	脳神経内科	A refractory human T-cell leukemia virus type 1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis patient with lymphoma-type adult T-cell leukemia/lymphoma: A case report and review of the literature.	Medicine (Baltimore). 2021 Oct 8;100(40):e27450. (オンライン)	Case report
80	Mishima T, Fujioka S, Morishita T, et al.	脳神経内科	Personalized Medicine in Parkinson's Disease: New Options for Advanced Treatments.	J Pers Med. 2021 Jul 10;11(7):650. (オンライン)	Review
81	Kurihara K, Mishima T, Fujioka S, et al.	脳神経内科	Efficacy and safety evaluation of safinamide as an add-on treatment to levodopa for parkinson's disease.	Expert Opin Drug Saf. 2022 Feb;21(2):137-147.	Review
82	Tanaka K, Yoshida Y, Yamada T et al.	消化器外科	Oncological evaluation in the perioperative period using cfDNA with BRAFV600E mutation in patients with colorectal cancer	SCIENTIFIC REPORTS 2021年6月(オンライン)	Original Article
83	Kajitani R, Minami M, Kubo Y et al.	消化器外科	Intraoperative pressure monitoring of the lower leg for preventing compression-related complications associated with the lithotomy position	Surgical Endoscopy 2021年12月(オンライン)	Original Article



84	Okada H, Shiwaku H, Ohmiya T et al.	消化器外科	Efficacy and safety of peroral endoscopic myotomy in 100 older patients	Esophagus 2021年10月(オン ライン)	Original Article
85	Munechika T, Kajitani R, Matsumoto Y et al.	消化器外科	Safety and effectiveness of high ligation of the inferior mesenteric artery for cancer of the descending colon under indocyanine green fluorescence imaging: a pilot study	Surgical Endoscopy 2021年4月 35(4):1696-1702	Original Article
86	Shiwaku H, Inoue H, Shiwaku A	消化器外科	Safety and effectiveness of sling fiber preservation POEM to reduce severe post-procedural erosive esophagitis	Surgical Endoscopy 2022年1月 36(6):4255-4264	Original Article
87	Shiwaku H, Okada H, Shiwaku A	消化器外科	Endoscopic full-thickness resection of an esophageal leiomyoma located in close proximity to the azygos vein	DEN open 2021年8月(オンラ イン)	Case report
88	Kusumoto G, Higashi M, Shigematsu K, et al.	麻酔科	Third-generation hydroxyethyl starch causes dose-dependent coagulopathy in patients undergoing off-pump coronary artery bypass with continuation of preoperative aspirin	Heart Surg Forum・24 (5):E849-E854, 2021.9.29	Original Article

89	Nakamori E, Shigematsu K, Higashi M, et al.	麻酔科	Postoperative noninvasive hemoglobin monitoring is useful to prevent unnoticed postoperative anemia and inappropriate blood transfusion in patients undergoing total hip or knee arthroplasty: a randomized controlled trial	Geriatr Orthop Surg Rehabil・12: 1-8, 2021.11.19	Original Article
90	Owaki-Nakano R, Higashi M, Iwashita K, et al.	麻酔科	Anesthetic management of multiple acyl-coenzyme A dehydrogenase deficiency in a series of surgeries under general anesthesia: a case report	JA Clin Rep・7:54, 2021.7	Case report
91	佐藤聖子、千々岩絵里子、大脇涼子、他	麻酔科	脊髄空洞症を伴うアーノルド・キアリ奇形1型術後の無痛分娩麻酔経験	麻酔・70(8):844-848, 2021.8	Case report
92	Mihara K, Nakahara H, Iwashita K, et al.	麻酔科	Cerebral hemorrhagic infarction was diagnosed subsequently after high-amplitude slow waves detected on processed electroencephalogram during sedation: a case report	JA Clin Rep・7:79, 2021.10(オンライン)	Case report

93	Aya Yoshino , Yoshihiko Nakamura , Shiho Hashiguchi , Shintaro Ishida , Ryosuke Mano ,Shinsuke Nakamura , Ryosuke Kita , Mika Seto , Tohru Takata , Hiroyasu Ishikura, Seiji Kondo	歯科口腔外科	Oral Health of COVID-19 Patients Using Extracorporeal Membrane Oxygenation: A Clinical Study of 19 Cases.	J Clin Med. 2021 Dec ; 11(1):42	Original Article
94	Aya Yoshino , Yoshihiko Nakamura , Shiho Hashiguchi , Shintaro Ishida , Ryosuke Mano ,Shinsuke Nakamura , Ryosuke Kita , Mika Seto , Tohru Takata , Hiroyasu Ishikura, Seiji Kondo	歯科口腔外科	The Association between the Oral-Gut Axis and the Outcomes of Severe COVID- 19 Patients Receiving Extracorporeal Membrane Oxygenation: A Case-Control Study	J Clin Med. 2022 Feb; 11:1167	Original Article
95	George Umemoto, Shinsuke Fujioka, Yasuyuki Iwasa, Yoshie Ozaki, Kayoko Koga, Kazumi Nishimura, Yoshio Tsuboi	歯科口腔外科	Impact of Progression of Parkinson's Disease on Swallowing Ability and Oral Environment.	Parkinsons Dis. 2021 Apr ;2021:5571556	Original Article
96	George Umemoto, Shinsuke Fujioka, Hajime Arahata, Nobutaka Sakae, Naokazu Sasagasako, Mine Toda, Hirokazu Furuya, Yoshio Tsuboi	歯科口腔外科	Longitudinal Changes of Tongue Thickness and Tongue Pressure in Neuromuscular Disorders.	BMC Neurol. 2021 Aug ;21:302	Original Article

97	Ryosuke Kita, Aya Yoshino, Shiho Hashiguchi, Shinsuke Nakamura, Seiji Kondo	歯科口腔外科	Utility of forming the occlusal and mandibular units with interfragmentary wires in mandibular comminuted fractures	Advance in Oral and Maxillofacial Surgery 2021 April-June ;2:100054	Others
98	Shintaro Ishida, Shinsuke Nakamura, Aya Yoshino, Ryosuke Kita, Seiji Kondo	歯科口腔外科	Pneumatosis intestinalis after orthognathic surgery	Advance in Oral and Maxillofacial Surgery 2021 April-June ;2:100058	Others
99	Ryosuke Kita, Aya Yoshino, Ryosuke Mano, Shinsuke Nakamura, Seiji Kondo	歯科口腔外科	Triangular-shaped lingual osteotomy using a bone saw in sagittal split ramus osteotomy	Advance in Oral and Maxillofacial Surgery 2021 April-June ;3:100133	Others
100	Naoya Kotani, Takashi Morishita, Tooru Inoue	リハビリテーション部	Potential role of biofeedback therapy for Parkinson's disease	Neural Regeneration Research. 2021 Oct; 16(10): 2021-22	Others
101	Koichi Hyakutake, Takashi Morishita, Kazuya Saita, et al.	リハビリテーション部	Effect of Robot-assisted Rehabilitation to Botulinum Toxin A Injection for Upper Limb Disability in Patients with Chronic Stroke: A Case Series and Systematic Review	Neurologia medico-chirurgica. 2022 Jan; 62(1): 35-44	Original Article

102	Satoshi Kamada1, Kanta Fujimi1, Etsuji Shiota et al.	リハビリテーション部	Experience of Rehabilitation for Patients with Mild and Moderate COVID-19 without Remote Systems	International Journal of Physical Medicine and Rehabilitation. 2021, Vol.9 Iss.S8 No:1000003 Published 2021 Dec	Original Article
103	Yuhei Irie, Kota Hoshino, Yasumasa Kawano, Mariko Mizunuma, Ryo Hokama, Shinichi Morimoto, Yoshito Izutani, Hiroyasu Ishikura	救命救急センター	Relationship between serum zinc level and sepsis-induced coagulopathy	International Journal of Hematology • Published online 2021/10/20 <a href="https://doi.org/10.1007/s12185-021-03225-4">https://doi.org/10.1007/s12185-021-03225-4</a>	Original Article
104	Ishikura H, Irie Y, Kawamura M, Hoshino K, Nakamura Y, Mizunuma M, Maruyama J, Nakashio M, Suzuki-Inoue K, Kitamura T.	救命救急センター	Early recognition of sepsis-induced coagulopathy using the C2PAC index: a ratio of soluble type C lectin-like receptor 2 (sCLEC-2) level and platelet count.	Platelets • 2022 Jan 24:1-10. doi: 10.1080/09537104.2021.2019694. Online ahead of print. PMID: 35073814	Original Article
105	Ishikura H, Maruyama J, Hoshino K, Matsuoka Y, Yano M, Arimura T, Katano H, Kato S, Kitamura T, Nakamura Y.	救命救急センター	Coronavirus disease (COVID-19) associated delayed-onset fulminant myocarditis in patient with a history of severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2) infection.	J Infect Chemother. • 27:1760-1764, 2021 Available online 12 August ( <a href="https://doi.org/10.1016/j.jiac.2021.08.007">https://doi.org/10.1016/j.jiac.2021.08.007</a> ).	Case report
106	Nakamura Y, Katano H, Nakajima N, Sato Y, Suzuki T, Sekizuka T, Kuroda M, Izutani Y, Morimoto S, Maruyama J, Koie M, Kitamura T, Ishikura H.	救命救急センター	SARS-CoV-2 is localized in cardiomyocytes: a post-mortem biopsy case.	Int J Infect Dis • 2021 Aug 9:S1201-9712(21)00647-0. doi: 10.1016/j.ijid.2021.08.015.	Case report

107	Oda K, Morishita T, Shibata S, Tanaka H, Hirai N, Inoue T.	救命救急センター	Case report: Favorable outcomes of spinal cord stimulation in complex regional pain syndrome Type II consistent with thermography findings	Surgical Neurology International• 2021;12:598. DOI :10.25259/SNL_95_9_2021	Case report
108	Ohta E, Setoue T, Ito K, Kodera T, et al.	総合周産期母子医療センター、小児科	Invasive candidiasis in a neonatal intensive care unit in Fukuoka.	64(1):e14949. doi: 10.1111/ped.14949.Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14949. First published:13.Aug 2021 (オンライン)	Original Article
109	Ohta E, Setoue T, Ito K, et al.	総合周産期母子医療センター、小児科	Septic arthritis in childhood: A 24-year review.	Pediatr Int. 2022 Jan;64(1):e14993. doi: 10.1111/ped.14993.First published:15.September2021(オンライン)	Original Article
110	Satoshi Ieiri,Hiroki Kai,Ryuichiro Hirose	総合周産期母子医療センター、小児外科	Thoracoscopic intraoperative esophageal close technique for long-gap esophageal atresia	Asian J Endosc Surg First published: 02 May 2021 <a href="https://doi.org/10.1111/ases.12947">https://doi.org/10.1111/ases.12947</a> IF:1.075(オンライン)	Others
111	Shibui Y,Kohashi K, Tamaki A et al.	総合周産期母子医療センター、小児外科	The forkhead box M1 (FOXM1) expression and antitumor effect of FOXM1 inhibition in malignant rhabdoid tumor	J Cancer Res Clin Oncol 147(5):1499-1518, May 2021(オンライン)	Original Article

112	Takeoka H, Horibata K, Hiyoshi T, et al	総合診療部	Useful clinical findings and simple laboratory data for the diagnosis of seasonal influenza	J General Family Med 22(5):231-236,2021,Sep	Original Article
113	Takeoka H, Horibata K, Ajsaka K,et al	総合診療部	Prediction of aseptic meningitis among patients with fever and headache.	J Hospital General Med3(3):84-91,2021,May	Original Article
114	Okutsu S, Kato Y, Funakoshi S, et al	総合診療部	Effects of weight gain after 20 Years of age and incidence of hyper-low-density lipoprotein cholesterolemia: the Iki epidemiological study of atherosclerosis and chronic kidney disease (ISSA-CKD)	J Clin Med 2021 Jul, <a href="https://www.mdpi.com/2077-0383/10/14/3098">https://www.mdpi.com/2077-0383/10/14/3098</a>	Original Article
115	Takeoka H, Ajsaka K, Nimura S ,et al	総合診療部	ANCA-related vasculitis with severe lung damage that progressed rapidly after onset	J Hospital General Med 3(2):42-48,2021 Mar	Case report
116	Sakihara E, Ajsaka K, Takeoka H, et al	総合診療部	A case of transient global amnesia with hippocampal infarction due to infective endocarditis	J Infect Chemother 27(6):902-905,2021 Jun	Case report

117	Kinoshita Y, Hamasaki M, Matsumoto S, Yoshimura M, Sato A, Tsujimura T, Kamei T, Kawahara K, Iwasaki A, Nabeshima K.	病理部	Fluorescence in situ hybridization detection of chromosome 22 monosomy in pleural effusion cytology for the diagnosis of mesothelioma.	Cancer Cytopathol, 129(7): 526-536, 2021 Jul	Original Article
118	Oyama Y, Hamasaki M, Matsumoto S, Sato A, Tsujimura T, Nabeshima K.	病理部	Short 57 kb CDKN2A FISH probe effectively detects short homozygous deletion of the 9p21 locus in malignant pleural mesothelioma.	Oncol Letters, 22(6):813, 2021 Jun	Original Article
119	Imoto Y, Wakasaki A, Izumida K, et al	臨床検査部	Analysis of the diagnostic capabilities of urinary neutrophilgelatinase-associated lipocalin and serum procalcitonin for acute kidney injury at the early stage of critical care intensivecare unit admission	J Clin Lab Anal. 2021 Jul;35:e23852.	Original Article
120	Ito M, Shimada H, Ogata T et al.	臨床検査部	Association of carotid ultrasonography with perioperative stroke after thoracic aortic aneurysm treatment:a retrospective study	J Med Ultrason (2001) . 2021 Jul;48(3):307-313.	Original Article
121	Daiki Hagiwara, Daisuke Sakamoto, Hidetoshi Kamimura, et al.	Department of Pharmacy	Impact of Simple Suspension Method on the Number of Living Bacteria of Probiotics	Japanese Pharmacology and Therapeutics 49, 843-847 (2021). 2021年6月	Original Article



122	Akane Nagasato, Tomomi Kuramitsu, Masatoshi Nakamura, et al.	Department of Pharmacy	Efficacy and Safety of Caffeine for Preterm Infants with Apnea According to Birth Weight	Japanese Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 47, 372-379 (2021). 2021年7月	Original Article
123	Yutaka Ueda, Motoyasu Miyazaki, Kota Mashima, et al.	Department of Pharmacy	The Effects of Silver Sulfadiazine on Methicillin-Resistant <i>Staphylococcus aureus</i> Biofilms	Microorganisms, 8, 1551, 2021 Oct. doi:10.3390/microorganisms8101551	Original Article

合計123件

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること

(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

## (2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	小吉里枝、坪井義夫、鷺山厚司、他	医療安全管理部	福岡大学病院の入院患者における転倒の現状と取り組みについて	医療と安全 12:35-40, 2020.9	Original Article
2	小吉里枝、三浦伸一郎.	医療安全管理部	冠動脈疾患を有する患者における加齢と内皮機能の関連性	臨牀と研究 98(1):105-108, 2021.1	Original Article
3	Komaki T, Ogawa M, Idemoto Y, et al.	循環器内科	Gap-related Pulmonary Vein and Left Atrial Flutter Mimicking Cavotricuspid Isthmus-dependent Atrial Flutter	Internal Medicine 59(11):1413- 1416, 2020 Jun	Case report
4	Onishi N, Komaki T, Nakamura M, et al.	循環器内科	A Rare Case of Submassive Pulmonary Embolism with a Right Aberrant Subclavian Artery and Thrombosed Kommerell Diverticulum	Internal Medicine 59(15):1861- 1865, 2020 Aug	Case report
5	Shiga Y, Idemoto Y, Tashiro K, et al.	循環器内科	Regression and Stabilization of Coronary Vulnerable Plaque by Evolocumab as Assessed by Multidetector Row Computed Tomography	Internal Medicine 59(19):2391- 2395, 2020 Oct	Case report
6	Sugihara M, Miura S.	循環器内科	Endoscopic Findings of an Excessively Compressed Interwoven Nitinol Supera Stent	Circulation Journal 84(5):830, 2020 May	Case report
7	Sugihara M, Ueda Y, Yano Y, et al.	循環器内科	Successful case of direct puncture of a prosthetic bypass graft in endovascular treatment for long superficial artery chronic total occlusion: a case report	Eur Heart J Case Rep 4(6):1-5, 2020 Nov	Case report
8	戒能宏治、松田拓朗、藤見幹太、他	リハビリテーション部	心血管病患者の体力と身体機能スクリーニングにおけるロコモチェックシートの有用性	臨牀と研究 97(2):95-98, 2020.2	Case report
9	副島麻子、志賀悠平、丸尾宇史、他	循環器内科	院内診療ガイドラインに基づいた静脈血栓塞栓症治療	臨牀と研究 97(4):85-90, 2020.4	Case report

10	Miura S, Katsuda Y, Sugihara M, et al.	循環器内科	A Strict Target for Low-Density Lipoprotein Cholesterol May not Be Necessary for Secondary Prevention of Cardiovascular Disease in ALL Elderly Patients With Dyslipidemia	Cardiol Res 11(6):366-369, 2020 Dec	Review
11	志賀悠平、三浦伸一郎.	循環器内科	配合剤を用いた降圧療法の積極的推進	日本臨牀増刊号 高血圧学 下 78(2): 434-439, 2020.7	Review
12	三浦伸一郎.	循環器内科	運動指導のポイント	高血圧と循環器病の予防と管理 188-198, 2020.9	Review
13	桑野孝志.	循環器内科	アンジオテンシン受容体拮抗薬ネプリライシン阻害薬の大動脈瘤抑制効果と作用機序	福岡大学研究部 論集 F:推奨研究編 8:109-112, 2020.12	Review
14	岡村圭祐、高士祐一、松島昌敏、他	医学部 客員准教授	循環器科医の為の超選択的副腎静脈サンプリングマニュアル	臨牀と研究 97(5):76-88, 2020.5	Review
15	森戸夏美、三浦伸一郎.	循環器内科	診療科別超音波検査の要点と盲点 循環器	臨牀と研究 98(3):58-65, 2021.3	Review
16	吉村 力、有馬久富、天ヶ瀬寛信、他	呼吸器内科	妊婦のむずむず脚症候群の疫学調査	Medical Science Digest. 47(7):50-51, 2021	Original Article
17	池内伸光、丸山隼一、石倉宏恭、藤田昌樹	呼吸器内科	経験に学ぶCOVID-19診療 治療経験に学ぶ世代別のCOVID-19治療 ③高齢者—急速に悪化を示しECMO管理を行ったCOVID-19症例	感染と抗菌薬 2021; 24(1):28-33	Case report
18	吉村 力、宮地律子、舩越駿介、他	呼吸器内科	睡眠障害ケースカンファレンス (第60回) 簡易睡眠検査とその後の呼吸機能検査にて気管支喘息が判明し、吸入療法にて睡眠呼吸障害が改善した症例	睡眠医療 15(2):229-233, 2021	Case report

19	藤田 昌樹, 長尾 哲彦	呼吸器内科	長引く咳への実践的アプローチ	臨床と研究 98(9):1102-1110,2021.09	Review
20	藤田 昌樹	呼吸器内科	【COPDと喘息-診療の最前線】 COPDと喘息の疫学	臨床と研究 98(9):1015-1018,2021.09	Review
21	吉村 力、有馬久富、天ヶ瀬寛信、他	呼吸器内科	妊娠・出産時に注意すべき疾患 ～むずむず脚症候群と睡眠時無呼吸症候群について～	BIO Clinica 36(11):88-91,2021	Review
22	藤田 昌樹	呼吸器内科	【Withコロナ時代の肺炎診療】 Withコロナ時代の肺炎の現状と課題	臨床と研究 98(11):1277-1281,2021.11	Review
23	Kato M, Hori H, Inoue T, Iga J, Iwata M, Inagaki T, Shinohara K, Imai H, Murata A, Mishima K, Tajika A.	福岡大学医学部精神医学教室	Discontinuation of antidepressants after remission with antidepressant medication in major depressive disorder: a systematic review and meta-analysis.	Mol. Psychiatry 26(1): 118-133, 2021	Original Article
24	Knight MJ, Lyrtzis E, Fourrier C, Aboustate N, Sampson E, Hori H, Cearns M, Morgan J, Toben C, Baune BT.	福岡大学医学部精神医学教室	Psychological training to improve psychosocial function in patients with major depressive disorder: A randomized clinical trial.	Psychiatry Res 300; 113906-113906, 2021	Original Article

25	<p>Numata S. Nakataki M. Hasegawa N. Takaesu Y. Takeshima M. Onitsuka T. Nakamura T. Edagawa R. Edo H. Miura K. Matsumoto J. Yasui- Furukori N. Kishimoto T. Hori H. Tsuboi T. Yasuda Y. Furihata R. Muraoka H. Ochi S. Nagasawa T. Kyou Y. Murata A. Katsumoto E. Ohi K. Hishimoto A. Inada K. Watanabe K. Hashimoto R.</p>	福岡大学医学部精神医学教室	<p>Improvements in the degree of understanding the treatment guidelines for schizophrenia and major depressive disorder in a nationwide dissemination and implementation study.</p>	<p>Neuropsychopharmacol Rep 41 (2) : 199-206, 2021</p>	Original Article
26	<p>Takeuchi H. Takekita Y. Hori H. Oya K. Miura I. Hashimoto N. Yasui- Furukori N.</p>	福岡大学医学部精神医学教室	<p>Pharmacological treatment algorithms for the acute phase, agitation, and maintenance phase of first-episode schizophrenia: Japanese Society of Clinical Neuropsychopharmacology treatment algorithms.</p>	<p>Hum Psychopharmacol 36(6) e2804, 2021</p>	Original Article

27	Hashimoto N, Yasui- Furukori N, Hasegawa N. Ishikawa S. Numata S. Hori H. Iida H. Ichihashi K. Furihata R. Murata A. Tsuboi T. Takeshima M. Kyou Y. Komatsu H. Kubota C. Ochi S. Takaesu Y. Usami M. Nagasawa T. Hishimoto A. Miura K. Matsumoto J. Ohi K. Yamada H. Inada K. Watanabe K. Shimoda K. Hashimoto R.	福岡大学医学部精神医学教室	Characteristics of discharge prescriptions for patients with schizophrenia or major depressive disorder: Real-world evidence from the Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education (EGUIDE) psychiatric treatment project.	Asian J Psychiatry 63: 102744-102744, 2021	Original Article
28	Baune BT. Sampson E. Louise J. Hori H. Schubert O. Clark SR. Mills NT. Fourrier C.	福岡大学医学部精神医学教室	No evidence for clinical efficacy of adjunctive celecoxib with vortioxetine in the treatment of depression: A 6-week double-blind placebo controlled randomized trial.	Eur Neuropsychopharmacol 53: 34-46, 2021	Original Article
29	Yu X. Si T. Lu Z. Shi C. Iyo M. Iwata N. Ueno T. Inada K. Hori H.	福岡大学医学部精神医学教室	Clinical practice of blonanserin for the treatment of schizophrenia: Advice from Chinese and Japanese experts.	Chinese Mental Health 9:741-757, 2021	Original Article
30	Morishita T, Sakai Y, Iida H, Yoshimura S, Ishii A, Fujioka S, Tanaka SC, Inoue T	福岡大学医学部精神医学教室	Neuroanatomical considerations for optimizing thalamic deep brain stimulation in Tourette syndrome.	J Neurosurg. 136(1):231-241, 2021	Original Article
31	林 礼雄、堀 輝、川崎 弘 詔	福岡大学医学部精神医学教室	双極性障害維持期の時効性注射剤のエビデンス	臨床精神医学 50(10):1041-1047, 2021	Review

32	Hori H.	福岡大学医学部精神医学教室	Doxazosin improved COVID-19 associated nightmare in a patient with major depressive disorder: a case report with a positive rechallenge.	Int Clin Psychopharmacol 36(4): 221-223, 2021	Case report
33	Ryo Asada, Yuma Ogushi, Hikaru Hori, Hiroaki Kawasaki	福岡大学医学部精神医学教室	Successful treatment for major depressive disorder with psychotic features with addition of asenapine on escitalopram	Psychogeriatrics 22: 413-414, 2022	Case report
34	衛藤 暢明, 川崎 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	自殺企図後の抑うつ	Depression Journal 9(1) 16-17, 2021	Others
35	川崎 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	withコロナ時代のメンタルヘルス	福岡県医報 令和3年5月 第1539号	Others
36	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	一人称の死-自殺（自死）の選択とその精神病理-	保健の科学 63(2):97-101, 2021	Review
37	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	福岡大学病院におけるCOVID-19チームサポートプロジェクトについて	ほすびたる No. 752, 2021	Others
38	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	自殺企図後の抑うつ	ふくおか精神保健 66:81-84, 2021	Review
39	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	コンサルテーション・リエゾンからみた不眠症治療とリスクマネジメント	筑紫医師会報 46(1), 2021	Others
40	衛藤 暢明, 川崎 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	コロナ禍における自殺実態の動向と対策.	医学のあゆみ 279(1), 18-23, 2021	Review
41	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	総合病院精神科医の立場から-構造の暴力的破壊-	精神分析研 65(1), 30-36, 2021	Review

42	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	自殺予防への心理学的試み.	臨床精神医学 50(6):601-606, 2021	Review
43	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	コロナ禍における自殺とその対策.	日本医師会雑誌 150(6):989-991, 2021	Review
44	衛藤暢明, 増田将人, 林礼雄, 松岡秀樹, 大串祐馬, 川口貴子, 飯田仁志, 川寄弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	総合病院における精神科関連での身体合併症対応について.	精神科 39(2):169-176, 2021	Review
45	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	コロナ禍の自殺未遂者対応,	精神科治療学 36(9):1047-1052, 2021	Review
46	衛藤 暢明, 川寄 弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	福岡大学博多駅クリニックにおける「自殺予防外来」の診療の試み.	九州神経精神医学 67(1), 2021	Others
47	堀 輝	福岡大学医学部精神医学教室	統合失調症の就労支援とリカバリー	最新精神医学 26(1):19-25, 2021	Review
48	堀 輝、井手健太	福岡大学医学部精神医学教室	双極性障害治療において、本当に抗うつ薬を処方してはいけないのか？	精神科治療学 36(5):531-536, 2021	Review
49	堀 輝	福岡大学医学部精神医学教室	休職中うつ病患者の職場復帰評価	臨床精神薬理 24(8):823-829, 2021	Review
50	松岡秀樹、堀輝、川寄弘詔	福岡大学医学部精神医学教室	うつ病における認知機能の評価と復職の判断	臨床精神医学 50(12):1395-1401, 2021	Review
51	堀 輝 (分担)	福岡大学医学部精神医学教室	統合失調症治療の新たなストラテジー 第2版:治療アドヒアランスの評価と治療への影響	先端医学社 186-189, 2021	Others



52	永光 信一郎	小児科	ネット依存、心身症、不登校—子どもの心の不調に家庭・学校・かかりつけ医はどのように向き合うべきか—	小児保健研究 (日本小児保健協会) 2021年 Vol. 80 (2) : 129-134	Review
53	永光 信一郎	小児科	思春期健診とCBTアプリによる 思春期ヘルスプロモーション	子どもの心とからだ (日本小児心身医学会) 2021年 Vol. 29 (4) : 359-364	Review
54	岩中剛、白井剛、伊崎智子 他	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	遅発性横隔膜ヘルニアに対する内視鏡外科手術のpitfallと対応策	日本小児外科学会雑誌 57 (7) :1078- 1083, 2021	Case report
55	田中益美、小野周子、野原有起 他	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	Paclitaxel+Bevacizumab療法に外科切除を加えることで局所コントロールが可能となったStage III C 乳癌	癌と化学療法 48(11) 1393 - 1395, 2021	Case report
56	平塚嘉香, 田中潤, 塩川晃章, et al.	整形外科	胸腔鏡手術を使用した胸椎ダンベル腫瘍の治療経験	整形外科と災害外科 2021,70(3):386- 388	Original Article
57	今給黎洸志, 田中潤, 塩川晃章, et al.	整形外科	腰椎椎体間固定における PEEK cageとtitan coating PEEK cageの比較	整形外科と災害外科 2021,70(3):406- 409	Original Article
58	落合舞, 坂本哲哉, 瀬尾哉, et al.	整形外科	予測因子を用いた小児化膿性股関節炎の検討	整形外科と災害外科 2021,70(3):418- 420	Original Article
59	三尾 亮太, 田中 祥継, 村岡邦秀, et al.	整形外科	LRSA法による母指CM関節形成術後のMP関節への影響	整形外科と災害外科 2021,70(3):434- 438	Original Article
60	田中 光, 村岡邦秀, 田中 祥継, et al.	整形外科	85歳以上の手根管症候群患者に対する鏡視下手根管開放術の効果	整形外科と災害外科 2021,70(3):457- 458	Original Article
61	吉村郁弘, 木下浩一, 坂本哲哉, et al.	整形外科	大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術における INHERITOR Stemの初期固定性の検討	整形外科と災害外科 2021,70(3):468- 470	Original Article
62	倉光 正憲, 三宅 智, 田中 祥継, et al.	整形外科	人工橈骨頭置換術の長期治療成績	整形外科と災害外科 2021,70(3):485- 488	Original Article

63	谷口 善政, 吉村 一郎, 長友 雅也, et al.	整形外科	足関節外側靭帯損傷に対する足関節外側靭帯補強術の短期成績	整形外科と災害外科 2021,70(3):514-517	Original Article
64	藤原 紘, 萩尾 友宣, 吉村 一郎, et al.	整形外科	内反小趾を合併した外反母趾に対する低侵襲手術の治療成績	整形外科と災害外科 2021,70(3):518-521	Original Article
65	百武 紘司, 萩尾 友宣, 吉村 一郎, et al.	整形外科	Fleck Signがリスフラン関節損傷の治療成績に及ぼす影響	整形外科と災害外科 2021,70(3):522-525	Original Article
66	戸倉 晋, 金澤 和貴, 千々岩 芳朗, et al.	整形外科	脛骨骨幹部骨折に合併した足関節周囲骨折	整形外科と災害外科 2021,70(3):526-529	Original Article
67	小柳 真穂, 伊崎 輝昌, 三宅 智, et al.	整形外科	肩外傷に対するリバーズ型人工肩関節全置換術の治療成績	整形外科と災害外科 2021,70(3):554-556	Original Article
68	酒井 政彦, 小林 知弘, 山崎 裕太郎, et al.	整形外科	OWHTOのヒンジ部におけるB-TCP形状の違いによる骨癒合の検討	整形外科と災害外科 2021,70(4):644-648	Original Article
69	市川 賢, 前山 彰, 小田 大嘉, et al.	整形外科	OWHTO術後のプレート抜釘による満足度の検討	整形外科と災害外科 2021,70(4):630-633	Original Article
70	吉村 陽貴, 石松 哲郎, 宮崎 弘太郎, et al.	整形外科	Femoral Patellar Height Indexを用いたOWHTO後の膝蓋骨高の評価	整形外科と災害外科 2021,70(4):638-640	Original Article
71	赤須 優希, 石松 哲郎, 宮崎 弘太郎, et al.	整形外科	Joint Laxityのある内反変形膝に対するOWHTOの作図法の検討	整形外科と災害外科 2021,70(4):641-643	Original Article
72	中島 輝人, 小林 知弘, 工藤 悠貴, et al.	整形外科	伸展位立位正面像とRosenberg像におけるKellgren-Lawrence分類の相違がOWHTOの術後成績に及ぼす影響	整形外科と災害外科 2021,70(4):649-652	Original Article
73	熊谷 千尋, 塩川 晃章, 田中 潤, et al.	整形外科	当院における転移性脊椎腫瘍に対する姑息的手術の治療成績	整形外科と災害外科 2021,70(4):669-672	Original Article

74	城間大, 坂本哲哉, 瀬尾哉, et al.	整形外科	ナビゲーションを用いたTHAの検討	整形外科と災害外科 2021,70(4):688-690	Original Article
75	畑直文, 瀬尾哉, 坂本哲哉, et al.	整形外科	高位脱臼性股関節症に対する転子下骨切り併用人工股関節全置換術の中期成績	整形外科と災害外科 2021,70(4):694-697	Original Article
76	松田隆寛, 三宅智, 伊崎輝昌, et al.	整形外科	肩甲骨関節窩に発生した骨内ガングリオンの治療成績	整形外科と災害外科 2021,70(4):725-729	Original Article
77	大林賢司, 中山鎮秀, 西尾淳, et al.	整形外科	Desmoplastic fibroblastomaの治療経験	整形外科と災害外科 2021,70(4):746-748	Original Article
78	大島由貴子, 西尾淳, 中山鎮秀, et al.	整形外科	紡錘形細胞脂肪腫の臨床像、MRI所見、病理組織像の検討	整形外科と災害外科 2021,70(4):738-741	Original Article
79	木下浩一, 坂本哲哉, 瀬尾哉, et al.	整形外科	50歳未満の若年者に対する人工股関節全置換術の長期成績	整形外科と災害外科 2022,71(1):1-3	Original Article
80	鈴木正弘, 木下浩一, 小林知弘, et al.	整形外科	セメントステム抜去後の出血性ショックに対し経カテーテル動脈塞栓術(TAE)による止血により救命し得た一例	日本人工関節学会誌 2021,51:469-470	Case report
81	山本卓明	整形外科	特集 大腿骨頭壊死症の基礎と臨床 Up to date introduction	関節外科 2021,40(12):1239	Review
82	山本卓明, 加来信広, 高尾正樹	整形外科	Debate 若年者Stage 3A大腿骨頭壊死患者への人工股関節置換術 BHA vs. THA	臨床整形外科 2021,56(8):1081-1086	Review
83	鈴木正弘, 木下浩一, 坂本哲哉, et al.	整形外科	大転子前壁の形状は大腿骨前捻角を反映する	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 2021,77-78	Review
84	山本卓明	整形外科	THAの前方進入、後方進入の違いを教えてください	整形外科看護 2021,26(3)262-269	Review

85	木下 浩一, 山本 卓明	整形外科	【コンバージョンTHAのすべて-難易度の高いprimary THA-】 Curved periacetabular osteotomy後の変形性股関節症に対するTHA	関節外科 2022,41(2):115-119	Review
86	田中 潤, 山本 卓明	整形外科	【外来汎用薬の選択のポイント】 各種治療薬における上手な薬剤選択 NSAID・慢性疼痛治療薬	臨牀と研究 2022.3, 99(2):184-190	Review
87	萩尾友宣、吉村一朗	整形外科	足関節脱臼骨折と複合靭帯損傷	MB Orthop. 2022,35(3):10-16	Review
88	前山 彰	整形外科	各種人工骨の特徴	膝周囲骨切り術のすべて 編集: 岡崎賢 2021,44-48	Others
89	吉村一朗	整形外科	足関節後方インピンジメント症候群	今日の整形外科治療指針 第8版 土屋 弘行 (編集) 2021	Others
90	前山 彰	整形外科	Ⅱ各論 1 外傷・障害 F. スポーツ障害 3) 有痛性分裂膝蓋骨	膝関節外科学 編集:津村弘、三浦裕正、松田秀一、岡崎賢 2021,307-310	Others
91	前山彰, 山本卓明	整形外科	Ⅱ各論 1 変性疾患 B.特発性膝骨壊死	膝関節外科学 編集:津村弘、三浦裕正、松田秀一、岡崎賢 2021,362-369	Others
92	前山 彰	整形外科	整形外科医が伝えたい関節痛の診療	治療 マルチに攻める痛みの診療 編集幹事:鍋島茂樹 2021,Vol.103 no.7 p822-826	Others
93	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのうちに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】 股関節(Q23) THAの前方進入、後方進入の違いを教えてください	整形外科看護 2021,26(3):262	Others

94	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのウチに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】股関節(Q24) THAの前方進入、後方進入で脱臼肢位に違いはありますか?	整形外科看護 2021,26(3):263-264	Others
95	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのウチに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】股関節(Q25) THAの手術時、骨セメントを使用するとなぜ血圧が下がるのでしょうか?	整形外科看護 2021,26(3):265	Others
96	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのウチに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】股関節(Q26) THA後、筋力がついても脱臼リスクは変わらないのでしょうか?	整形外科看護 2021,26(3):266	Others
97	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのウチに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】股関節(Q27) 大腿骨近位部骨折の手術で、骨接合術と人工骨頭置換術はどう使い分けられているのでしょうか?	整形外科看護 2021,26(3):267-268	Others
98	山本卓明	整形外科	【あやふや知識をいまのウチに!整形外科のいまさらギモン スッキリアンサー 41】股関節(Q28) 大腿骨近位部骨折の手術には髄内釘固定やスクリュー固定などいろいろありますが、どのように使い分けられているのですか?	整形外科看護 2021,26(3):269	Others
99	吉村 一朗	整形外科	【後足部疾患に対する最小侵襲治療の実際】距踵関節癒合症に対する鏡視下手術	整形外科最小侵襲手術ジャーナル 2021,100号:32-36	Others
100	吉村 一朗	整形外科	(III章)下肢 足関節・足 距骨骨軟骨損傷	整外科学レビュー 松本守雄・監 2021,2021-'22 巻:214-220	Others
101	山本卓明	整形外科	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 特発性大腿骨頭壊死症	日本医事新報 2021,5086:42-43	Others

102	吉村 一朗	整形外科	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 距骨骨軟骨損傷	日本医事新報 2021,5089:42	Others
103	山本卓明	整形外科	私の診療経験から-リウマチ性疾患におけるレントゲンの見方	臨床と研究 2022,99(1):127-132	Others
104	木下浩一, 山本卓明	整形外科	Curved periacetabular osteotomy後のTHA	関節外科 2022,41(2):15-19	Others
105	西 建剛、境 隆博	福岡大学病院形成外科	眼輪筋タッキングにおける固定方法と短縮量の検討	形成外科・ 64(11):1356-1362,2021	Original Article
106	西 建剛、境 隆博	福岡大学病院形成外科	眉毛内切開を応用した頬骨前頭縫合へのアプローチ	日本形成外科学会誌・ 41(12):711-715,2021	Original Article
107	西 建剛、高木誠司	福岡大学病院形成外科	急性創傷 汚染創への対応	PEPARS・177:17-23,2021	Review
108	高原正樹、福田健治、神崎貴充	脳神経外科	頸動脈ステント留置術後のステント内血栓症に対してプラスグレルが著効した1例	脳卒中 43(4):348-353,2021	Original Article
109	Horio Y, Ogata T, Abe H et al	脳神経外科	Factors Predictive of Enlargement of Dissecting Aneurysms in the Vertebral Artery	World Neurosurgery 151: e935-942, 2021	Original Article
110	Enomoto T, Aoki M, Kouzaki T et al	脳神経外科	Multicentric glioblastoma in a 4-year-old female patient:A case report	Molecular and clinical oncology 14(5):90,2021	Case report
111	Kobayashi H, Morishita T, Yoshinaga S et al	脳神経外科	Enlargement of preexisting superficial temporal artery pseudo-aneurysm coincidental to mask wearing during the Covid-19 pandemic	Interdisciplinary Neurosurgery: Advanced Techniques and Case Management 27:2022 DOI: 10.1016/j.inat.2021.101306	Case report

112	早麻政斗, 林田好生, 寺谷裕充, 峰松紀年, 尼子真生, 住 瑞木, 岩隈昭夫, 和田秀一	福岡大学病院心臓血管外科	上行大動脈人工血管内に疣贅を認めた1例	胸部外科・74(8):615-619, 2021	Case report
113	早麻政斗, 住瑞木, 尼子真生, 國友祐希, 野間通裕, 森田裕一, 藤井満, 寺谷裕充, 松村 仁, 峰松紀年, 江石清行, 和田秀一	福岡大学病院心臓血管外科	Falot四徴症術後遠隔期に僧帽弁位感染症心内膜炎に対して手術を行った1例	胸部外科・74(13):1095-1099, 2021	Case report
114	バヤラー・ポロルトヤ, 山口和記, 柴山慶継, その他	皮膚科	福岡大学乾癬レジストリにおける尋常性乾癬、乾癬性関節炎患者の生物学的製剤治療の変遷2018update	日本皮膚科学会雑誌.2021 Apr;131(4):733-742	Original Article
115	今村友美, 藤崎亜紀, 笹本聖人, その他	皮膚科	内眼角に生じたアポクリン汗嚢腫の1例	臨床皮膚科.2021 May;75(6):421-424	Case report
116	川崎彩加, 柴山慶継, 今福信一	皮膚科	鼠径リンパ節転移を来した原発不明扁平上皮癌の1例	Skin Cancer.2021 Jun;36(1): 21-25, 2021	Case report
117	松田亜依, 柴山慶継, 古賀佳織, その他	皮膚科	Speckled Lentiginous Nevusに生じた悪性黒色腫の1例	西日本皮膚科. 2021Aug;83(4):348-350	Case report
118	片山 栞, 古賀佳織, 柴山慶継, その他	皮膚科	Desmoplastic Spitz Nevusの2例	西日本皮膚科.2021 Aug;83(4):339-343	Case report
119	鈴木祥子, 大賀保範, 今福信一	皮膚科	バカンピシリン内服により非色素沈着型固定薬疹を繰り返した1例	西日本皮膚科.2021 Aug;83(4):321-323	Case report
120	松田亜依, 佐藤絵美, 石橋侑花, その他	皮膚科	クリンダマイシン塩酸塩カプセルによる全身性接触皮膚炎の1例	西日本皮膚科.2021 Oct;83(5):406-410	Case report
121	市ヶ谷友美[今村], 伊藤宏太郎, 今福信一	皮膚科	イベルメクチン内服後に再発した顎口虫によるCreeping Diseaseの1例	西日本皮膚科.2021 Oct;83(5):447-452	Case report

122	松田絵奈、柴山慶継、佐藤絵美、今福信一	皮膚科	【脂腺の病気】脂腺母斑を伴ったpseudocyst of the scalp	皮膚病診療.2021 Dec;43(12):1094-1097	Case report
123	宮原大輔、四元房典、吉川賢一、他	産婦人科	婦人科良性疾患に対して施行したTLHの周術期合併症について	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌・37(1): 7-13、2021	Original Article
124	井槌大介、倉員正光、柳井繁章、他	産婦人科	自己血貯血を計画する妊婦には、メンタルヘルスに対処した周産期管理が必要である	日本産婦人科・新生児血液学会誌・31(1):17-18、2021	Original Article
125	平川豊文、四元房典、宮田康平、他	産婦人科	子宮内膜症治療における間葉系幹細胞を用いた新たな治療戦略	日本エンドメトリオーシス学会会誌・42:29-33、2021	Review
126	漆山大知、秦健一郎、宮本新吾	産婦人科	特集 切迫早産と早産 最新アップデート 羊水検査で何がわかる？	ペリネイタルケア・40(10):29-33、2021	Review
127	漆山大知、秦健一郎、宮本新吾	産婦人科	メタゲノム解析・メタ16S解析	遺伝子医学36・11(2):115-121、2021	Review
128	宮原大輔、宮本新吾	産婦人科	第4章 有害事象マネジメント 肝障害	婦人科がん薬物療法パーフェクトガイド(診断と治療社)・p.154-159、2021年	Review
129	前原宏基	耳鼻咽喉科	下腿蜂窩織炎を契機に気管切開術に至った高度肥満患者症例	耳鼻と臨床 67(3):183-192,5.20,2021	Case report
130	前原宏基	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科領域手術における4K-3D外視鏡システムの使用経験	耳鼻と臨床 67(5):334-338,9.20,2021	Original Article
131	前原宏基	耳鼻咽喉科	ステロイド投与を行った神経耳科疾患のB型肝炎再活性化についての検討	耳鼻と臨床67(6):367-374,11.20,2021	Original Article
132	西 龍郎	耳鼻咽喉科	十数年の経過で再発をきたした鼻腔 Glomngiopericytomaの1例	耳鼻と臨床 67(6):393-401,11.20,2021	Case report



133	木村翔一	耳鼻咽喉科	前縦隔原発リンパ上皮腫様癌の一例	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 52: 41-44,10.1,2021	Case report
134	吉満研吾	放射線科	【これだけおさえる胸腹部解剖-血管と管腔のvariation & anomalyを中心に-】腹部肝臓：肝内肝外胆管系の解剖学的破格	画像診断・41(6): 572-579 2021.04	Original Article
135	肥田浩亮、高野浩一、吉満研吾	放射線科	【絶対苦手分野にしない脳梗塞の画像診断】脳梗塞のMRI診断	臨床画像・38(3): 288-297 2022.03	Original Article
136	長町茂樹	放射線部	医療従事者が知っておくべき放射線の知識—医療法の一部改正に伴い銘記したい事項—	臨牀と研究・ 98(4): 498-502 2021.04	Review
137	吉満研吾、高山幸久	放射線科	CT、MRIどちらを依頼?(No.19)胆・胆道：閉塞性黄疸患者で胆管がんが疑われる	日本医師会雑誌・150(7): 1228-1229 2021.10	Review
138	吉満研吾	放射線科	MR elastographyの測定の実際 ROIの置き方	日本磁気共鳴医学会雑誌・41(4): 70-74 2021.11	Review
139	吉満研吾、高山幸久	放射線科	CT、MRIどちらを依頼?(No.22)胆・胆道：超音波検査で胆嚢がんが疑われた	日本医師会雑誌・150(10): 1802-1803 2022.01	Review
140	磯部泰司	腫瘍・血液・感染症内科	NK細胞の分化・成熟における転写因子ETS1の役割	血液内科 82(5):733-738, 2021.5	Review
141	磯部泰司	腫瘍・血液・感染症内科	血球貪食性リンパ組織球症	血液内科 83(1):31-42, 2021.7	Review
142	知念祥太郎、高松泰	腫瘍・血液・感染症内科	多発性骨髄腫やその他の形質細胞腫瘍に合併する神経症状	血液内科 83(6):778-785, 2021.12.28	Review

143	茂木愛、高松泰	腫瘍・血液・感染症内科	特集/かゆみ診療に必要な最新の知識 かゆみと疾患 造血器腫瘍	臨床と研究 99(3):46-50, 2022.3	Review
144	Fujii H, Funakoshi S, Maeda T, Satoh A, Kawazoe M, Ishida S, Yoshimura C, Yokota S, Tada K, Takahashi K, Ito K, Yasuno T, Okutsu S, Mukoubara S, Nakashima H, Nabeshima S, Kondo S, Fujita M, Masutani K, Arima H, Kawanami D (corresponding author).	内分泌・糖尿病内科	Eating Speed and Incidence of Diabetes in a Japanese General Population: ISSA-CKD.	J Clin Med 2021; 10(9), 1949.	Original Article
145	Takashi Y, Sawatsubashi S, Endo I, Ohnishi Y, Abe M, Matsuhisa M, Kawanami D, Matsumoto T, Fukumoto S.	内分泌・糖尿病内科	Skeletal FGFR1 signaling is necessary for regulation of serum phosphate level by FGF23 and normal life span.	Biochem Biophys Rep 27:101107, 2021	Original Article
146	Kawanami D, Takashi Y, Takahashi H, Motonaga R, Tanabe M.	内分泌・糖尿病内科	Renoprotective Effects of DPP-4 Inhibitors.	Antioxidants (Basel). 10(2):246, 2021	Review
147	Kawanami D, Takashi Y, Muta Y, Oda N, Nagata D, Takahashi H, Tanabe M.	内分泌・糖尿病内科	Mineralocorticoid Receptor Antagonists in Diabetic Kidney Disease. Front Pharmacol.	Front Pharmacol. 12:754239, 2021	Review
148	Takashi Y, Kawanami D, Fukumoto S.	内分泌・糖尿病内科	FGF23 and Hypophosphatemic Rickets/Osteomalacia.	Curr Osteoporos Rep. 19(6):669- 675, 2021	Review

149	Takashi Y, Kawanami D.	内分泌・糖尿病内科	Myxedema coma in COVID-19.	Ann Clin Endocrinol Metabol. (Letter to the Editor) 5:029-030, 2021	Letter
150	岡島幹篤, 藤岡伸助, 籠田早織 他	脳神経内科	Diphasic dyskinesia, すくみ足に対するレボドパ・カルビドパ経腸用液療法の至適用量: 症例報告と文献的考察.	臨床神経学 29;61(6), 2021年6月 p. 398-400	Original Article
151	栗原可南子, 藤岡伸助, 三嶋崇靖 他	脳神経内科	King's Parkinson's Disease Pain Scale (KPPS)と King's Parkinson's Disease Pain Questionnaire (KPPQ)の日本語版の作成と言語的妥当性の検討	臨床神経学, 62(1), 2022年1月 15-21.	Original Article
152	Shinsuke Nakamura, Yoshiaki Mukudai, Junichiro Chikuda, Meilin Zhang, Hideyuki Shigemori, Kazunaga Yazawa, Seiji Kondo, Toshikazu Shimane And Tatsuo Shirota	歯科口腔外科	Combinational Anti-tumor Effects of Chemicals from Paeonia lutea Leaf Extract in Oral Squamous Cell Carcinoma Cells	Anticancer Research 2021 Dec; 41:6077-6086	Original Article
153	Shiho Hashiguchi, Tomoko Tanaka, Ryosuke Mano, Seiji Kondo, Shohta Kodama	歯科口腔外科	CCN2 activates ERK-signaling via integrin $\alpha$ v and enhances the interaction of ERK and DUSP6 in lymphatic endothelial cell	bioRxiv 2021 June (オンライン)	Original Article
154	Shiho Hashiguchi, Tomoko Tanaka, Ryosuke Mano, Seiji Kondo, Shohta Kodama	歯科口腔外科	CCN2-induced lymphangiogenesis is mediated by the integrin $\alpha$ v $\beta$ 5-ERK pathway and regulated by DUSP6	Affiliations expand Sci Rep 2022 Jan ;12:926	Original Article
155	井槌大介, 倉員正光, 柳井繁章, 他	総合周産期母子医療センター 産婦人科	自己血貯血を計画する妊婦には、メンタルヘルスに対処した周産期管理が必要である	日本産婦人科・新生児血液学会誌・31(1):17-18, 2021	Original Article

156	岩中 剛、白井剛、伊崎智子、廣瀬 龍一郎、岩崎 昭憲	総合周産期母子医療センター、小児外科	遅発性横隔膜ヘルニアに対する内視鏡外科手術のpitfallと対応策	日小外会誌 57(7):1078-1083, 2021	Case report
157	鍋島 茂樹	総合診療部	プラタナス～私のカルテから～ 植物の力	日本医事新報 5056:3,2021	Review
158	日吉哲也、鍋島茂樹	総合診療部	視ればわすれない耳寄りな情報	総合診療 31(5):641-642,2021	Review
159	日吉哲也、野下育真、鍋島茂樹	総合診療部	左側腹部痛の1例 GM Clinical Pictures	総合診療 31(9):1161-1162,2021	Review
160	日吉哲也、鍋島茂樹	総合診療部	頭が上がらない	総合診療 31(12):1551-1552,2021	Review
161	日吉哲也、岡崎裕子、瀬知裕介	総合診療部	動かぬ証拠	総合診療 31(3):371-372,2021	Review
162	藤 洋美、徳重智絵美、恵良文義 他	臨床検査部	5種類のブドウ球菌選択培地および7種類のMRSAスクリーニング培地の検出性能比較	医学検査 2021, Vol.70 No.4 685-690	Original Article
163	Shinnji Sigemori	放射線部	施設における線量管理	日本放射線技術学会医療情報部会誌 Vol.19, No1, 36巻, P11	Case report
164	大津友紀、末松保憲、神村英利他	薬剤部	心血管疾患で入院した患者における健康食品の使用実態調査	日本機能性食品医学会誌, 14, 329-336(2021). 2021年6月	Original Article
165	五十嵐保陽、濱走優人、西真理子他	薬剤部	非小細胞肺癌に対するペムプロリズマブ治療により関節リウマチを生じた1例	癌と化学療法, 48, 837-839(2021). 2021年6月	Case report
166	眞崎晃、大津友紀、中野貴文他	薬剤部	ワルファリンカリウムとアミオダロン塩酸塩併用患者のPT-INRに影響を与える要因の検索	薬理と治療 49, 867-873(2021). 2021年6月	Original Article

167	安高勇氣、芝口浩智、神村英利	薬剤部	バンコマイシンによるレッドマン症候群発現後に紅斑型皮疹が生じたと考察した1例	九州薬学会雑誌, 75, 29-33 (2021). 2021年10月	Case report
168	岩崎清子、安高勇氣、松崎翔平他	薬剤部	ガンシクロビル耐性サイトメガロウイルス感染症の重篤化を回避したサルコイドーシス患者の1例	日本病院薬剤師会雑誌 57, 1107-1112(2021). 2021年10月	Case report
169	長郷あかね、Brian Waters、原健二他	薬剤部	未熟児無呼吸発作に対するカフェイン治療の血中カフェイン濃度による評価	薬理と治療 49, 1581-1588 (2021). 2021年10月	Original Article
170	池内忠宏、中島俊明、池田宗彦他	薬剤部	保険薬局を対象としたオンライン説明会の取り組み	九州薬学会雑誌 75, 17-21 (2021). 2021年10月	Original Article
171	萩原大樹、永江寛子、江藤浩平他	薬剤部	院外処方における包括的事前合意プロトコルの導入とその効果	日本病院薬剤師会雑誌 57, 1274-1278(2021). 2021年11月	Original Article
172	永江寛子、萩原大樹、神村英利	薬剤部	診療報酬改定を機に実施した病棟薬剤師のポリファーマシー対策とその評価	日本病院薬剤師会雑誌 57, 1360-1366(2021). 2021年12月	Original Article
173	田渕知佳、兼重晋、大塚誠他	薬剤部	電子媒体を用いたトレーシングレポート共有化システムに関する実態調査	日本病院薬剤師会雑誌 58, 281-288(2022). 2022年3月	Original Article

合計173件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 福岡大学医に関する倫理委員会標準業務手順書 医に関する倫理委員会審査事項 迅速審査事項及び報告事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 福岡大学 利益相反に関する規定 福岡大学 臨床研究に係る利益相反ポリシー 福岡大学 臨床研究に係る利益相反マネジメント委員会に関する内規	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年20回
・ 研修の主な内容	

人を対象とする生命科学 医学系研究に関する倫理指針について

利益相反（COI）について

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

<ul style="list-style-type: none"><li>・内科専攻医研修プログラムに基づく研修</li><li>・消化器内科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・呼吸器専門研修プログラムに基づく研修</li><li>・精神科専門医研修プログラム</li><li>・小児科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・呼吸器・乳腺内分泌・小児外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・整形外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・形成外科専門研修プログラムに基づく研修</li><li>・脳神経外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・心臓血管外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・皮膚科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・腎泌尿器外科 専門研修施設群専門研修プログラムに基づく研修</li><li>・産婦人科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・眼科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・耳鼻咽喉科専門研修プログラムに基づく研修</li><li>・放射線科領域モデル専門研修プログラム 2021 年度</li><li>・腫瘍・血液・感染症内科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・腎臓・膠原病内科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・脳神経内科研修プログラムに基づく研修</li><li>・消化器外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・麻酔科専門医研修プログラムに基づく研修</li><li>・歯科口腔外科後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・救命救急センター 後期臨床研修プログラムに基づく研修</li><li>・病理専門研修プログラムに基づく研修</li></ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	132.25人
-------------	---------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
三浦 伸一郎	循環器内科	教授	28年	
平井 郁仁	消化器内科 内視鏡部	診療部長	30年	消化管 領域
釈迦堂 敏	消化器内科	副診療部長	36年	肝胆膵 領域
藤田 昌樹	呼吸器内科	診療部長	35年	
川寄 弘詔	精神神経科	診療部長	37年	
永光 信一郎	小児科	診療部長	33年	
佐藤 寿彦	呼吸器・乳腺内 分泌・小児外科	診療部長	24年	
山本 卓明	整形外科	診療部長	32年	



高木 誠司	形成外科	診療部長	27年
井上 亨	脳神経外科	診療部長	42年
和田秀一	心臓血管外科	診療部長	30年
羽賀 宣博	腎泌尿器外科	診療部長	25年
今福 信一	皮膚科	診療部長	30年
宮本 新吾	産婦人科	診療部長	39年
内尾英一	眼科	診療部長	27年
坂田俊文	耳鼻咽喉科	診療部長	36年
吉満研吾	放射線科	診療部長	35年
高松 泰	腫瘍・血液・感染症内科	診療部長	35年
川浪大治	内分泌・糖尿病内科	診療部長	24年
升谷 耕介	腎臓・膠原病内科	診療部長	28年
坪井 義夫	脳神経内科	診療部長	36年
長谷川 傑	消化器外科	診療部長	17年
秋吉 浩三郎	麻酔科	診療部長	26年
近藤 誠二	歯科口腔外科	診療部長	30年
石倉 宏恭	救命救急センター	センター長	36年
鍋島 茂樹	総合診療部	診療部長	32年
鍋島 一樹	病理部	診療部長	41年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容</p> <p>患者急変時の対応(救急蘇生法・AED演習)、安全な輸血療法の実施(演習)、インスリンの取り扱い、安全な静脈注射、輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱い、医療安全の基本。</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>各研修 1時間から2時間、2回/年 実施</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>241名</p>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>・研修の主な内容 多職種合同オリエンテーション、接遇マナー研修</p> <p>・研修の期間・実施回数 令和3年4月実施</p> <p>・研修の参加人数 約120名</p>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 岩崎 昭憲	
管理担当者氏名	庶務課長 田中 智 医療情報部事務室長 服部 和文 薬剤部長 神村 英利	医事課長 江渕 猛雄 放射線部技師長 上村 忠久

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	庶務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	看護部
		検査所見記録	臨床検査部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	地域医療連携センター 医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課
		高度の医療の提供の実績	庶務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	庶務課
		高度の医療の研修の実績	庶務課
		閲覧実績	庶務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携センター
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部・医事課
			<p>当院の診療記録は一患者一番号で管理を行っており、入院診療記録については、入院期間毎にターミナルデジット方式、外来診療記録については患者番号順で保管している。平成21年8月5日から電子カルテシステムを導入しているが、同意書や入院診療計画書、退院サマリなどの紙保管が必要なものについては、紙運用時と同様に保管しており、令和4年3月のタイムスタンプ導入後は全て電子カルテ上に保存している。</p> <p>なお、入院・外来診療記録共に、最終来院日から10年経過したものは廃棄し、タイムスタンプ取込み後の紙については、6か月保管後廃棄としている。</p> <p>また、個人情報を厳格に管理するため、平成29年6月1日に「診療記録取扱内規」を改正し、紙の診療記録の貸出を禁止し、閲覧にて対応している。</p> <p>先進医療実績報告(帳簿管理)</p> <p>地域医療連携センターにて一括管理 紙媒体で台帳保管、またデータ保管</p>

掲げる事項	規則第一条の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	医療安全管理部にて一括管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	医療安全管理部・感染制御部にて一括管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部 医療安全管理部 庶務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	薬剤部にて一括管理 以下項目、上記に同じ
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	臨床工学センターにて一括管理 以下項目、上記に同じ
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療安全管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者が有する権限に関する状況	医療安全管理部
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	医療安全管理部		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> ② 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	事務長 川野 耕
閲覧担当者氏名	庶務課長 田中 智 医事課長 江淵 猛雄 医療情報部事務室長 服部 和文
閲覧の求めに応じる場所	・病院西別館3階B会議室
閲覧の手続の概要 閲覧を希望の際には、庶務課へ申請を行い、閲覧室である病院西別館3階B会議室にて閲覧を行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全管理に関する基本的考え方</li> <li>2. 安全管理のための委員会および院内の組織に関する基本事項</li> <li>3. 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li> <li>4. 安全確保を目的とした改善策を講ずるための基本方針</li> <li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7. 患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ol> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無 ( 有・無 )</li> <li>・ 開催状況：年 12 回</li> <li>・ 活動の主な内容：医療安全管理委員会 (1回/月)</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容 (すべて)：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療安全院内教育 9 回</li> <li>2. 医療安全実践セミナー 11 回</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療事故・合併症・重要インシデント事例の検討・医療安全教育の企画。</li> <li>2. 医療安全管理者が抽出したインシデント事例を医療安全管理部小委員会で検討し、改善を要するものはセーフティマネジャー会を通じて伝達している。また、全職員に電子カルテ掲示板で会議資料を公開し、安全管理・危機管理意識の向上に努めている。</li> <li>3. 医療安全管理責任者および医療安全管理者は、事故・インシデント・合併症発生時など、必要に応じて当事者、当該部署と個別に対応し指導する。特に重要事例に関しては、検討会を開いて、迅速な対応を心掛けている。</li> <li>4. 病院全体の問題として取り上げる必要がある事例は、医療安全管理委員会に提言し、安全管理の改善に役立てる。</li> <li>5. 「安全管理レポート」(毎月)と「医療安全情報」(適時)を発行し、全職員へフィードバックおよび周知徹底を図っている。</li> <li>6. 医療安全管理院内ラウンドを月1回実施し、現状把握および周知徹底を図っている。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。



規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院内感染対策に関する基本的考え方</li> <li>2. 院内感染対策のための委員会および院内の組織に関する基本事項</li> <li>3. 感染対策に関する教育・研修に関する基本方針</li> <li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5. 院内感染発生時の対応</li> <li>6. 感染対策の閲覧に関する基本方針</li> </ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策委員会（1回/月）</li> <li>・ 感染制御部会議（1回/月）</li> <li>・ セーフティマネジャー会（1回/月）</li> <li>・ 看護部部内感染対策委員会（1回/月）</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全院内教育 3 回</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「院内感染対策のための指針」に即した院内感染対策マニュアルを整備し、遵守状況を院内各部署のラウンドで確認している。</li> <li>2. 1回/週、ICT（ICD、感染管理認定看護師（CNIC）、臨床検査技師、薬剤師の4職種）が院内各部署のラウンドを行い、微生物ラウンド、環境ラウンドを実施している。微生物ラウンドに際して、資料（細菌検査室で全部署直近2週間分のラウンド対象患者一覧表）を毎回準備している。</li> <li>3. 感染対策支援システム（電子カルテ端末上）で毎日、血液培養陽性者、抗酸菌陽性者、新規多剤耐性菌検出患者等の報告を確認し、部署の感染対策について情報共有している。また、毎週1回以上、ICTミーティングを行っている。</li> <li>4. 院内感染を疑う場合には適宜、感染制御部内で連携し、関係部署と調整し対応している。</li> <li>5. 行政への報告対応が必要な場合には、感染制御部内で連携し、関係部署と調整し対応している。</li> <li>6. アウトブレイク等問題が発生した部署については、適宜介入し、当該部署のスタッフを対象に研修会を開催している。アウトブレイク介入事例については、病院職員に対して電子カルテ端末上で通知し、診療部長会、感染対策員会、セーフティマネジャー会を通じて感染対策についての周知徹底を図っている。</li> <li>7. コロナ禍以降、2回/週のコロナ会議（感染対策委員会に準じたメンバー含む）を開催し、情報共有を図ると共に、諸々の感染対策についての諮問会議としている。</li> </ol>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○報道事例から学ぶ医薬品の安全管理</li> <li>○デュピクセント皮下注300mgペンの使い方</li> <li>○ゾラデックスの使い方</li> <li>○医療安全とリスクマネジメント</li> <li>○薬剤の基本的知識（法的な管理が義務付けられている医薬品）</li> <li>○注射薬剤の基本的知識</li> <li>○安全な薬剤管理</li> <li>○持参薬処方から院内処方への切り替え時の処方ミス</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有・無)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○医薬品の採用：薬事委員会において、医薬品安全管理責任者の立場で採用の可否を審議</li> <li>○医薬品の管理：各部署で手順書業務確認表を用いて使用期限や管理状況などを確認、月単位で医薬品安全管理責任者が確認 麻薬、覚醒剤原料は業務開始時に理論在庫数と実在庫数が一致するかを確認</li> <li>○患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項：注射払出システムによるバーコード認証の導入 特にリスクの高い医薬品の調剤時は薬歴、病名を確認し、処方内容を検討</li> <li>○患者に対する与薬や服薬指導に関する事項：薬剤管理指導業務の推進 病棟薬剤業務の推進 処方薬の管理方法を看護師と協議</li> <li>○医薬品情報の収集・提供：医薬品情報室による情報収集と発信、副作用報告の一元管理 適応外、禁忌などの処方に係る確認及び必要な指導</li> <li>○他施設との連携：採用医薬品一覧、がん化学療法レジメン公開 持参薬の確認および退院時指導の推進、病診薬連携の推進 薬剤情報ネットワーク（VPCS）の活用</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> <li>Verorab（輸入狂犬病ワクチン）：海外渡航時</li> <li>ブリリアントブルーG（院内製剤）：黄斑疾患に対する硝子体手術時の内境界膜染色</li> </ul> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 錠剤などの取り間違いを防止するため、ピッキング鑑査システム（ポリムス）を導入した。</li> <li>2. 麻薬調剤時に、薬袋（ラベル）、処方箋、払出処理票の取り違えを防止するために、オーダ番号での確認を徹底するよう周知した。</li> <li>3. 特定生物由来製品の製造番号を正確に管理するため、特定生物由来製品管理システム（LODMAN）を導入した。</li> </ol> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：           <p>輸液、シリンジポンプの研修を新人医師、看護師を対象に医療安全管理部と共同し実施している。 医療機器5項目（血液浄化装置、補助循環装置、人工呼吸器、保育器、除細動器）の研修を実施。 新規購入機器の使用方法についての研修。</p> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：           <p>血液浄化装置、補助循環装置、人工呼吸器、保育器、除細動器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、生体情報モニタ、麻酔器、他全36項目の保守点検を院内点検とメーカー点検として計画し実施している。</p> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：           <p>特になし</p> </li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：           <p>医療機器のインシデント情報を医療安全管理委員会で情報共有し、各部署に対策内容を、セーフティマネージャー会などで全体へ周知する。</p> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有 無
<p>・ 責任者の資格 (医師)・ 歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理者責任者は以下のように医療安全管理部門等を統括している。</p> <p>1. 病院長と連携し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務の管理・指導を行っている。</p> <p>2. 医師・薬剤師・看護師の医療安全専従者(医療安全管理者)の業務の管理指導を行っている。</p> <p>3. 専門分野責任者と連携し、各部門の医療安全を推進・指導している。</p> <p>4. 医療事故発生時は、事故調査委員会、事故対策委員会における病院長の支援を行い、医療安全上の課題への対策について職員への周知、指導を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (10名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤師部薬品情報室に終日担当者を設置して情報の整理・周知を一元化</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>適用外・禁忌使用処方について、調剤支援システムを用いて抽出する。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有) 無)</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 )</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有 無
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無 )</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：毎月診療科・部署に対してインフォームドコンセント記録を基に、説明日時・場所、同席者(医療者・患者の家族)、患者・家族の反応等が記載されているか等の事項について監査を行っている。不備が認められる場合はインフォームドコンセント委員会から部署に改善指導を行っている。</p>	

## ⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有 無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

## ① 退院カルテのチェック

退院後 14 日以内に、病棟で「【入院】患者ファイル完成チェックリスト」に沿って、退院カルテの紙保存分と電子カルテ作成分の量的監査を行い、入院カルテ庫へ提出する。

入院カルテ庫では病棟でチェックされた「【入院】患者ファイル完成チェックリスト」を使用してダブルチェックを行い、不備があれば確認を依頼している。また、診療情報管理士が病歴管理システム入力時にも監査を行っており、退院サマリや手術記録などに不備があれば確認・訂正を依頼している。

## ② 入院診療計画書

毎日、入院後 6 日目で入院診療計画書が電子カルテ上未提供の患者、または入院中で記載内容に不備がある患者について「入院診療計画書（6 日目作成状況一覧）」を作成し、対象病棟へ配布している。また、翌日（入院後 7 日目）は前日配布したリストを基に再度チェックを行い、未提供の患者については診療情報管理士から病棟師長へ確認の連絡をしている。

## ③ 委譲者オーダ・研修医カルテ未承認督促

前週の金曜日までの未承認を抽出し、週 1 回メールにて督促。前月以前の未承認が残っている医師を最優先で督促を行っている。

## ④ カルテ自主点検

毎月 1 回医師によるカルテ自主点検を行っており、他科と自科のカルテ入・外各 2 名分を「カルテ記載点検リスト」に基づき点検している。診療情報管理士も同じリストを使用し、評価後にフィードバックを行っている。

## ⑤ 診療情報管理士によるカルテ監査

毎日、外来と入院中や退院翌日の患者を数名抽出し、医師の記載内容やインフォームドコンセント記録など「カルテ監査チェックリスト」に基づき監査を行い、医師にフィードバックしており、質的監査の向上に取り組んでいる。

## ⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・ 所属職員：専従（ 5 ）名、専任（ ）名、兼任（ 9 ）名

うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 3 ）名

うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名

うち看護師：専従（ 2 ）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

医療安全管理部は、医療の安全に必要な指導、安全対策の推進、患者の相談に関する業務を行う。

1. 医療法施行規則に基づく業務

ア. 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保管、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。

イ. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分なされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。

ウ. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。

エ. 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。

オ. 医療安全に係る連絡調整に関すること。

カ. 高難度新規医療技術導入及び未承認新規医薬品等の使用の適否を決定する担当部門としての役割を担う。

キ. その他医療安全対策の推進に関すること。

2. 医療安全管理委員会で決定した方針に基づく業務

ア. 医療安全カンファレンスで用いられる資料及び議事録の作成と保管、その他医療安全カンファレンスの庶務に関すること。

イ. 医療安全管理部小委員会で用いられる資料及び議事録の作成と保管、その他医療安全管理部小委員会の庶務に関すること。

ウ. セーフティマネジャー会で用いられる資料及び議事録の作成と保管、その他セーフティマネジャー会の庶務に関すること。

エ. 事例検討会で用いられる資料及び議事録の作成と保管、その他事例検討会の庶務に関すること。

オ. 患者および家族からのご意見・ご要望相談（医療紛争を除く）の対応に関すること。

カ. 相談内容に応じた関係部署及び関係機関との連絡調整に関すること。

キ. その他医療安全管理部長が必要と認めた業務に関すること

・H28年4月から毎月手術時の血栓予防策実施状況、インフォームドコンセントの実施状況、輸血時のPDA認証状況等についてモニタリングを行い、診療状況の把握に努めている。

- ・院内ラウンドを毎月実施し、職員の医療安全に関する意識を把握し、意識向上のための方策を検討している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

#### ⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有  無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有  無 ）
- ・活動の主な内容：
  1. 診療科の長から高難度新規医療技術の提供の適否について申請を受理したときは、申請の内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対し、当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求める。
  2. 評価委員会の意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科の長に対し、その結果を適否結果通知書により通知する。
  3. 当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されているかについて、定期的及び術後の患者が死亡した場合、その他必要と認められるときは、診療録等の記載内容を確認する。
  4. 高難度新規医療技術の提供が適正な手続きに基づいていたかについて、医療提供者の遵守状況の確認を行う。
  5. 高難度新規医療技術の提供の適否等について決定したとき、及び医療提供者の遵守状況について確認したときは、その内容を病院長に報告する。
  6. 高難度新規医療技術提供の評価に関する資料、議事録及び遵守状況確認記録は確認の日から5年間保存する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有  無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有  無 ）

#### ⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有  
無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）

・活動の主な内容：

1. 担当部門の長は、診療部長から未承認新規医薬品等の使用の申請があったときは、当該申請の内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対し、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求める。
2. 担当部門の長は、委員会の意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について決定し、申請のあった診療部長に対しその結果を通知する。
3. 未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて提供されているかについて、定期的及び術後の患者が死亡した場合、その他必要と認める場合には診療録の記載内容を確認する。
4. 未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて提供されていたかについて、従業者の遵守状況の確認を行う。
5. 未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定した場合及び従業者の遵守状況について確認した場合は、その内容を病院長に報告する。
6. 未承認新規医薬品等の評価に関する審査資料、議事録及び遵守状況確認記録は、確認の日から5年間保存しなければならない。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有 無）

#### ⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 211 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 72 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

診療科に対して、全死亡事例について「死亡・死産事例報告書」の医療安全管理部への提出を義務付けている。また、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したときは、特異事例として当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関して速やかな報告を求めている。



⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（）（病院名：東邦大学医療センター大森病院、がん研有明病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（）（病院名：東邦大学医療センター大森病院、がん研有明病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況  
訪問側の所見及び受入れ側の改善策を記載した相互ラウンド実施報告書を作成し、相互に内容を確認している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況  
当該部署及び医療安全管理部で対応する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況  
別紙参照。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況
  - 【管理者】  
日本病院会「医療安全管理者養成講習会」
  - 【医療安全管理責任者】  
該当なし
  - 【医薬品安全管理責任者】  
令和3年度医薬品安全管理責任者等講習会
  - 【医療機器安全管理責任者】  
該当なし

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

- ・ 第三者による評価の受審状況  
公益財団法人日本医療機能評価機構「病院機能評価(3rdG;Ver. 2.0)  
令和2年2月7日、認定継続
- ・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況  
福岡大学病院ホームページで公表
- ・ 評価を踏まえ講じた措置  
公益財団法人日本医療機能評価機構への中間報告書提出

(注) 記載時点の状況を記載すること

## 2021年度 医療安全教育

- \* 講師の都合により、日程・内容等が変更になる場合があります。事前にご確認をお願いします。
- \* 会場での講演は事前申込みが必要です。申込み用紙は、セミナー開催日の1ヶ月前に部署に配布いたします。

	予定日 On line視聴期間	時間	対象 定員	単位	テーマ予定	場所
第1回	4月22日(木) ～5月6日(木)	60分	全職員	安全 感染	安全 「医療安全2021」 講師:藤田昌樹(医療安全管理部長) 感染 「感染制御2021」 講師:高田徹(感染制御部長) 橋本文代(感染対策担当管理者)	On Demand
第2回	6月29日(火) ～7月12日(月)	30分	全職員	安全	安全 「診療用放射線の安全使用のための研修」 講師:長町茂樹(医療放射線安全管理責任者) * 放射線診療従事者受講必須研修	On Demand
第3回	8月17日(火) ～8月31日(火)	30分	全職員	安全	安全 「患者誤認防止～患者確認の徹底～」 講師:鷺山厚司(医療安全管理部 医療安全管理者)	On Demand
第4回	9月7日(火)～ 9月21日(火)	60分	全職員	安全	安全 「全職員で取り組む転倒・転落予防策」 講師:医療安全小委員会 転倒・転落予防ワーキンググループ  「気管切開と気道の管理 ～事例から学ぶ危機回避～」 講師:白石武史(医療安全管理部副部長・臓器移植医療 センター長)	On Demand
第5回	9月29日(水)	17:00～18:00	全職員	安全	安全 「裁判から学ぶ医療安全」 講師:三ツ角直正弁護士(三ツ角法律事務所所長)	福大 メディカル ホール
第6回	11月5日(金)～ 11月18日(木)	60分	全職員	感染	感染 「ワンヘルス ～人と動物の感染症～」 講師:戸川 温(感染制御部 准教授) 「抗菌薬は必要?それとも不要? ～急性気道感染症～」 講師:塩塚昭一(感染制御部 薬剤師)	On Demand
第7回	11月12日(金)	17:00～17:30	全職員	安全	安全 『当院で発生した輸血事故 ～「分かっていた筈、なのに起きた!」をどう再発防止するか～』 講師:熊川みどり(輸血部 部長)	福大 メディカル ホール
第8回	12月3日(金)～ 12月16日(木)	30分	全職員	安全	安全 「安全な薬剤管理」 講師:川原義弘(医薬品安全管理責任者 副薬剤師長)	On Demand
第9回	12月14日(火)	17:00～18:00	全職員	感染	感染 「今後の医療における感染症対策の課題」 講師:大毛宏喜先生(広島大学病院感染症科 教授)	福大 メディカル ホール

### 医療安全教育 再視聴期間

2022年 2月7日(月)～2月25日(金) 予定	全職員	第1回～第9回 医療安全教育On Demand視聴
------------------------------	-----	---------------------------

## 2021年度 医療安全実践セミナー

- \* 講師の都合により、日程・内容等が変更になる場合があります。事前にご確認をお願いします。
- \* 事前申込みが必要です。申込み用紙は、セミナー開催日の1ヶ月前に部署に配布いたします。

	予定日	時間	対象定員	単位	テーマ予定	場所
第1回	5月25日 (火)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第2回	6月24日 (木)	17:30～18:30	医師 15名	安全	「CVCエコーガイド下穿刺ハンズオン」 講師:麻酔科医師	本館 3階北
第3回	7月29日 (木)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第4回	8月30日 (月)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第5回	9月30日 (木)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第6回	10月7日 (木)	17:30～18:30	全職員 15名	安全	「CVCエコーガイド下穿刺ハンズオン」 講師:麻酔科医師	本館 3階北
第7回	11月9日 (火)	17:30～18:30	医師 看護師 20名	安全	「安全な輸血療法 ～輸血投与実践演習～」 講師:輸血責任医師 学会認定臨床輸血看護師	新館 多目的室
第8回	11月26日 (金)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第9回	12月20日 (月)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第10回	1月25日 (火)	17:30～18:30	全職員 20名	安全	「救急蘇生法 ～急変時対応/AED演習～」 講師:救命救急センター医師 救急看護認定看護師 集中ケア認定看護師	本館 3階北
第11回	2月17日 (木)	17:30～18:30	医師 15名	安全	「CVCエコーガイド下穿刺ハンズオン」 講師:麻酔科医師	本館 3階北

安全の医療安全研修「1単位」として認定されます。

主催 : 医療安全管理部

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容 福岡大学病院長選考規程（平成31年1月制定、4月施行） 福岡大学病院長候補者選考会議規程（平成31年1月制定、4月施行） 福岡大学病院長候補者選考実施細則（平成31年1月制定、4月施行） 福岡大学病院長に求められる資質・能力について（選考基準） 医療法第十六条の三第1項各号に掲げる事項の実施その他の特定機能病院の管理及び運営に関する業務の遂行に関し必要な能力及び経験を有する者。</li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ 公表の方法 福岡大学病院公式HPにて公表を行い、公募している。</li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）</li> <li>・ 公表の方法 福岡大学病院公式HPにて公表を行い、公募している。</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
田中 守	副学長	○	福岡大学病院長候補者選考会議規程による。以下同様	有
小玉 正太	福岡大学医学部長			有
山縣 浩	福岡大学人文学部長			有
森山 茂章	福岡大学工学部長			有
松永 彰	福岡大学医学研究科長			有
岩崎 昭憲	福岡大学病院長			有
岳 弘司	福岡大学病院事務長			有
中川 朋子	福岡大学病院看護部長			有
藤田 昌樹 長谷川 傑 鍋島 茂樹	福岡大学病院診療部長 会のうちから互選により選出された教授3名			有

荒瀬 泰子 北園 孝成 水田 祥代	外部有識者 九州大学医学研究院長 福岡学園理事長 (学長が委嘱する学外 有識者 3名)			無
-------------------------	---------------------------------------------------------	--	--	---

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<p>・合議体の主要な審議内容 福岡大学病院診療部長会                  (1) 病院の診療、教育及び研究に関する事項                  (2) 病院運営に関する事項                  (3) その他病院長が必要と認めた事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 医局等、部署単位で所属長から回覧等により周知されている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ( 有 (無) )                  ・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ( 有 (無) )</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
岩崎 昭憲	○	医師	病院長
長谷川 傑		医師	副病院長
藤田 昌樹		医師	副病院長
和田 秀一		医師	副病院長
小川 正浩		医師	副病院長
甲斐 純美		看護師	副病院長
川野 耕		事務職員	事務長
高松 泰		医師	腫瘍・血液・感染症内科部長
川浪 大治		医師	内分泌・糖尿病内科部長
岩崎 昭憲 (兼務)		医師	循環器内科部長
平井 郁仁		医師	消化器内科部長
升谷 耕介		医師	腎臓・膠原病内科部長
藤田 昌樹 (兼務)		医師	呼吸器内科部長
坪井 義夫		医師	脳神経内科部長
川寄 弘詔		医師	精神神経科部長
永光 信一郎		医師	小児科部長
長谷川 傑 (兼務)		医師	消化器外科部長

佐藤 寿彦		医師	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科部長
山本 卓明		医師	整形外科部長
高木 誠司		医師	形成外科部長
安部 洋		医師	脳神経外科部長
和田 秀一 (兼務)		医師	心臓血管外科部長
今福 信一		医師	皮膚科部長
羽賀 宜博		医師	腎泌尿器外科部長
宮本 新吾		医師	産婦人科部長
内尾 英一		医師	眼科部長
坂田 俊文		医師	耳鼻咽喉科部長
吉満 研吾		医師	放射線科部長
秋吉浩三郎		医師	麻酔科部長
近藤 誠二		医師	歯科口腔外科部長
濱崎 慎		医師	病理部長
小川 正浩 (兼務)		医師	臨床検査部長
平井 郁仁 (兼務)		医師	内視鏡部長
熊川みどり		医師	輸血部長
吉満 研吾 (兼務)		医師	放射線部第一部長
長町 茂樹		医師	放射線部第二部長
秋吉浩三郎 (兼務)		医師	手術部長
廣瀬龍一郎		医師	栄養部長
鎌田 聡		医師	リハビリテーション部長
升谷 耕介 (兼務)		医師	血液浄化療法センター長
吉田陽一郎		医師	医療情報部長
石倉 宏恭		医師	救命救急センター長
永光信一郎 (兼務)		医師	総合周産期母子医療センター長
鍋島 茂樹 (兼務)		医師	総合診療部長
神村 英利		薬剤師	薬剤部長
甲斐 純美		看護師	看護部長



## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有  無 ）
- ・ 公表の方法

- ・ 規程の主な内容

福岡大学病院長職務権限規程

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

施設長である病院長をトップとし、副病院長と事務長とともに執行部を結成している。

執行部で執り行われる病院経営戦略会議では事業計画が立案される。

立案された事業計画は、それぞれの関連委員会にて審議され、その後、病院の最高意思決定機関である診療部長会にて審議の上、承認される。承認された事業は関連部署にて実施される。診療科ならびに診療各部、看護部、事務部は、病院の基本理念を理解し、執行部の運営方針に協力する。

実施の結果はそれぞれの関連委員会委員長によって診療部長会にて報告される。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

岩崎病院長：令和3年度特定機能病院管理者研修  
病院経営管理者研修会（日本病院会主催）  
医師の働き方改革セミナー（全国医学部長病院長会議主催）  
医師の働き方改革に関するセミナー（日本病院会主催）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有) 無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1. 監査対象期間の医療安全管理者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の業務実績についてヒアリングと記録を用いて監査する。</p> <p>2. 医療安全管理部門の各委員会、カンファレンス、活動内容について当事者からのヒアリングと議事録及び実施記録を用いて監査する。</p> <p>3. 必要に応じ、病院長及び開設者に対し、医療に係る安全については是正措置を講ずるよう意見を表明する。</p> <p>4. 管理者は業務結果について病院ホームページに公表する。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ( (有) 無 )</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ( (有) 無 )</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ( (有) 無 )</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ( 有 (無) )</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>・ 病院ホームページ</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
古賀 和徳	産業医科大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有 (無)	1
深川 直美	//		//	有 (無)	1
中村 圭佑	//		//	有 (無)	1
坪井 義夫	福岡大学病院		院内監査委員	(有) 無	1
林 覚竜	南蔵院		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有 (無)	2
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
  2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
  3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容  
内部監査室 平成18年4月1日設置
- ・専門部署の設置の有無 (  有 ・  無 )
- ・内部規程の整備の有無 (  有 ・  無 )
- ・内部規程の公表の有無 ( 有 ・  無 )
- ・公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況     理事会</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年7回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/>有・無 ）（ 年6 回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 <input checked="" type="radio"/>無 ）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
理事会に同じ			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 通報件数 (年2件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 周知の方法 福岡大学病院安全管理マニュアル、電子カルテインフォメーション、医療安全ポケットマニュアルに記載している。</li></ul>

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>近隣の地域に対する情報発信として、各種セミナーを開催している。</p> <p>1つ目は、医療連携の促進・強化を目的として、福岡市医師会及び城南区医師会との共催で行う「福岡大学病院メディカルセミナー」と糸島医療圏の医療関係者を対象とした「糸島医師会・福大病院 地域連携学術講演会」である。これらのセミナーは、各診療科の診療技術や研究内容、病院として取り組んでいる医療体制等について、当院の医師が講演やパネルディスカッションを行うもので年4回開催している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が予測できないことから「福岡大学病院メディカルセミナー」・「糸島医師会・福大病院 地域連携学術講演会」共に WEB形式で各2回開催した。</p> <p>2つ目は、地域の一般市民を対象とした「学んで予防！《福大病院 健康セミナー》」である。</p> <p>このセミナーは、城南区医師会及び早良区医師会、さらには城南区役所、城南保健所、城南区の各自治協議会・各公民館及び早良区役所、早良区保健福祉センター、早良区の各公民館に協力いただき、地域の方が知りたいと思っている「健康や病気の予防」をテーマに、当院の医師と城南区医師会推薦の医師との協力で2ヶ月に1回程度開催しており、各回200～300名の地域住民の参加がある。しかしながら、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の収束は予測できないことからYouTube配信で4回開催した。</p> <p>3つ目は、地域がん診療拠点病院として、がん患者やそのご家族、そして一般市民を対象に「福岡大学病院がんセミナー」を開催している。このセミナーは、がん治療の最前線の情報や各種がんの診療・治療・手術等の診療技術に関すること、また、がん治療中の薬物療法や食事療法、治療中の社会生活に関することなど、がんについてあらゆる知識や情報を発信している。当セミナーも上記のセミナー・講演会と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が予測できないことからYouTube配信で4回開催した。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>2科以上の診療科がセンターとして外来診療を行っている。</p> <p>「腎・泌尿器・膠原病センター」→腎臓・膠原病内科、腎泌尿器外科</p> <p>「消化器センター」→消化器内科、消化器外科</p> <p>「呼吸器センター」→呼吸器内科、呼吸器・乳腺内分泌・小児外科</p> <p>「女性診療センター」→産婦人科、呼吸器・乳腺内分泌・小児外科</p> <p>「皮膚科・形成外科・美容医療センター」→形成外科、皮膚科</p> <p>「ハートセンター」→循環器内科、心臓血管外科</p> <p>「小児医療センター」→小児科、小児外科</p> <p>「認知症疾患医療センター」→精神神経科、脳神経内科</p>	